# 今和5年稍符环年



直方·鞍手広域市町村图事務组合消防本部

# はしがき

- 1. この年報は、直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部の現 況及び推移並びに令和5年の主要な事項を収録し、将来の参 考に資すると共に消防事情を紹介するために編集したもので ある。
- 2. 統計は原則として暦年を以ってあらわし、予算については会計年度を以って作成した。

令和6年8月

直方·鞍手広域市町村圏事務組合消防本部 消 防 長 水 野 智 徳

# 目 次

一 1市2町の概要
-----------

1.	位置、地勢	1
2.	1市2町の面積、人口及び世帯数調べ	1
3.	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	$2 \sim 10$
4.	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部の機構及び署の組織・・・・	1 1
5.	消防相互応援協定の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2
6.	消防本部管轄区域及び消防力の配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3
<del>-</del>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
<u></u> / ¹⁄		
_	W(Fide   1 day or - + 7for /) 246	
1.	消防本部の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.	歴代消防長·····	1 5
3.	消防職員に対する人口・世帯数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4.	階級別職員数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
5.	消防職員の任用状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6.	本部・署所における職員の配置状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
7.	消防職員階級年齢別状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8.	消防職員勤続年数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
9.	年間教養委託状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
10.	消防職員の特殊技能資格者数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
11.	現有消防力調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
12.	消防力の整備指針と現有消防力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
13.	事務組合構成市町消防決算額調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
14.	事務組合構成市町消防決算額と一般会計との比較調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
15.	事務組合構成市町消防決算額に対する住民の負担状況調べ・・・・・・・	2 1
16.	事務組合常備消防決算額(歳出)調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 2

# 三 消防団

	1.	消防団組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 3
	2.	消防団員数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 4
3 —	1.	消防団員階級年齢別状況調べ	(宮若市) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2 5
3 —	2.	<i>II</i>	(鞍手町) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2 5
3 —	3.	<i>II</i>	(小竹町) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2 6
	4.	消防団員出場人員状況調べ・・・		2 7
	5.	消防団現有消防力・現有ホー	ス数調べ・・・・・・・	2 8
兀	子	·防編		
1		防火管理実施状況調べ及び消息	坊同意処理状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9
2		建築物申請処理状況調べ・・・・		3 0
3		危険物製造所等調べ・・・・・・・		3 1
4		容量及び類別屋外タンク貯蔵	所数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 1
5		危険物事業所数調べ・・・・・・・		3 1
6		危険物製造所等の許認可状況	調べ・・・・・	3 2
7			る手数料調べ・・・・・・・・・・・・・・・	3 3
8		危険物保安監督者を必要とする		
		査察実施状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3 4
9		火災予防条例に基づく各種届日	出書の提出状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・	3 5

# 五 警防編

	1. 2. 3. 4.	通信系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 6 3 7 3 8 3 8
六	火災	<b>泛編</b>	
	1.	火災概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 9
	2.	過去10年間の火災件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 0
	3.	過去10年間の火災損害額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1
	4.	過去10年間の火災による死傷者数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
	5.	火災概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 3
	6.	月別火災件数及び損害額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 4
6 —	1.	宮若市の月別火災件数及び損害額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5
6 —	2.	鞍手町の月別火災件数及び損害額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 6
6 —	3.	小竹町の月別火災件数及び損害額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 7
	7.	原因別・月別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 8
	8.	時間別(火災種別)火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 9
	9.	気象別月別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 0
1	0.	火災種別発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 1
1	1.	火災種別損害額	5 1
1	2.	市・町別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 2
1	3.	市・町別火災損害額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 2
1	4.	建物火災初期消火活動調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 3
1	5.	<b>覚知別建物火災件数······</b>	5 4
1	6.	主として使用した水利調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 4
1	7.	月別出動人員及び出動車両(放水車両)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 5

# 七 救急・救助編

1.	救急概要	5 6
2.	最近5か年の救急概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 7
3.	最近5か年の救急隊別救急出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 8
4.	出場先別(市・町別)救急出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 9
5.	出場先別(市・町別)月別救急出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 0
6.	月別救急出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 1
7.	曜日別救急出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 2
8.	時間別救急出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 3
9.	覚知別救急出動件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 4
10.	救急隊別搬送人員調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 5
11.	救急隊別不搬送件数調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 6
12.	月別搬送人員調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 7
13.	曜日別搬送人員調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 8
14.	傷病程度別男女別搬送人員調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 9
15.	事故種別年齢区分別搬送人員調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 0
16.	管内・管外別搬送人員調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 1
17.	救急隊の行った救急処置件数調べ	7 2
18.	高速道路救急出動件数及び搬送人員の傷病程度別調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 3
19.	救助概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 4
20.	救助出動総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 5
21.	月別救助出動表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 6

一 1市2町の概要

# 1. 位置、地勢

当消防本部は、宮若市、鞍手町、小竹町の1市2町からなり、福岡県の北部、福岡市と北九州市の両政令指定都市のほぼ中間に位置し、管内総面積189.87km。人口は48,193人である。

西は西山・犬鳴山により古賀市と糟屋郡、南西は笠置山を境にして飯塚市、東は丘陵地により直方市、北は遠賀郡、北西には靡山により宗像市と接しており、西部から南部にかけて、太宰府県立自然公園に指定されている三郡山系が湾曲をなして連なり、東部には筑豊の秀峰"福智山"を望むことができる。

また、管内の中央を東へ貫流する犬鳴川は、西山犬鳴山系の無数の渓流を集め、宮若市の中小河川と、さらに、三郡山系を水源として力丸ダムがあり東流する八木山川と宮若市で合流し、直方市において筑豊の母なる川"遠賀川"となる。

そして、当管内には九州の大動脈である九州自動車道(若宮IC、宮田SI及び鞍手IC)が整備されており、交通の利便性により企業進出が進み、トヨタ自動車九州(株)を核とした自動車産業等の発展により、雇用の拡大・地域経済の活性化が進んでいる。

それに伴い、管内人口の増加も見込まれつつあり、緑あふれる山河と一次・二次・三次産業の調和のとれた快適性に富んだ生活環境づくりの高度な計画も推進され、広域消防の体制強化も益々重要となってきている。

# 2. 1市2町の面積、人口及び世帯数調べ

(令和6年4月現在)

区 分	面積(km²)	人口	世帯数
宮 若 市	139.99	26, 332	13,408
鞍 手 町	35.60	14, 916	7, 421
小 竹 町	14.28	6, 945	3, 811
合 計	189.87	48, 193	24,640

# 3. 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部の沿革

### 昭和27年

- 11月 1日 宮田町民の要望により、常備消防として宮田町消防本部及び宮田消防署を宮田 町大字宮田4847にて発足。
- 11月 1日 初代消防長に野津五郎(宮田町長が兼務)就任。
- 12月15日 初代消防署長に吉柳信雄就任。
- 12月27日 職員11名採用。

### 昭和28年

- 1月19日 職員6名採用。
- 3月16日 消防ポンプ自動車1台配置。
- 10月 8日 初代消防署長、吉柳信雄退職。二代消防署長に三苫金造就任。

### 昭和29年

10月11日 職員6名採用。

### 昭和30年

- 4月20日 初代消防長、野津五郎退職。
- 5月 1日 二代消防長に荒牧敬三土(宮田町長が兼務)就任。

### 昭和35年

11月 1日 宮田町大字宮田字弁鳥70-2に庁舎移転。

### 昭和39年

- 1月 8日 水槽付消防ポンプ自動車1台配置。
- 12月31日 二代消防署長、三苫金造退職。

### 昭和40年

- 1月 1日 三代消防署長に上尾繁雄就任。
- 4月19日 指令車1台配置。

### 昭和41年

1月 1日 救急業務開始。

### 昭和43年

- 3月22日 宮田ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受ける。
- 9月24日 二代消防長、荒牧敬三土退職。
- 9月25日 三代消防長に上尾繁雄就任。

### 昭和45年

9月18日 消防ポンプ自動車1台配置。

### 昭和46年

3月30日 超短波無線移動局2基(10w)を開局。

(消防専用無線電話装置)

6月 1日 消防組織法の改正により宮田町に消防本部設置指定となる。

(自治省告示110号)

9月 6日 超短波無線基地局を開局。

9月16日 超短波無線移動局(10w)を開局。

昭和47年

7月21日 アルミ救命ボート及びゴムボート3艇配置。

昭和49年

4月17日 鞍手、小竹、若宮の各町に消防本部設置指定。(自治省告示第80号)

昭和50年

3月 1日 宮田町、鞍手町、小竹町、若宮町で、直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部が発足。(消防事務が直方・鞍手広域市町村圏事務組合の事務とされ、当分の間宮田町、鞍手町、小竹町、若宮町で組織されることとなったため、旧宮田町消防本部の庁舎を使用し、直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部、宮田消防署の1本部、1署になる。)(条例定数52名)

3月 1日 職員25名採用。初代消防長に上尾繁雄就任。

3月24日 救急車1台(国庫補助)配置。

3月31日 水槽付消防ポンプ自動車1台配置。

4月 7日 職員27名採用。

5月 1日 救急車1台を日本損害保険協会から寄贈を受ける。

12月 9日 救急車1台を福岡県共済農業共同組合から寄贈を受ける。

### 昭和51年

1月29日 行政車1台配置。

3月25日 救急車1台配置。

4月 1日 定数条例の改正により定数64名となる。

4月 1日 職員12名採用。

9月 1日 鞍手出張所開設。救急車1台配置。超短波無線基地局・固定局(10w)を開局。

9月14日 指令車1台更新整備。

10月 1日 職員2名採用。

10月 1日 小竹出張所開設。救急車1台配置。超短波無線基地局・固定局(10w) を開局。

### 昭和52年

3月 1日 若宮出張所開設。救急車1台を配置。超短波無線基地局・固定局(10w) を開局。

4月30日 専用車1台配置。

7月21日 九州自動車道(若宮~古賀)の開設により当該区間の上下線における救急業務開始。

10月28日 消防救急指令装置 B 型を宮田消防署に整備。管内4町の主要分団車庫等17ヵ所に無線サイレン吹鳴制御装置を設置。

### 昭和53年

6月 1日 直方・鞍手広域市町村圏事務組合休日夜間急患センター専用の消防無線遠隔制御 装置(単信式)を当本部に整備。 7月21日 化学消防自動車(2型)1台配置。

11月 1日 救急車1台配置。

昭和54年

3月 8日 九州自動車道 (八幡〜若宮) の開通により当該区間の上り線における救急業務開始。

4月 1日 職員2名採用。

7月21日 救助訓練塔設置。

10月 1日 定数条例改正により定数82名となる。

10月 1日 職員18名採用。

昭和55年

2月 5日 水槽付消防ポンプ自動車3台配置。鞍手、小竹、若宮の各出張所に配置。

昭和57年

4月 1日 職員1名採用。

4月30日 初代消防長、上尾繁雄退職。

5月 1日 二代消防長に三島保就任。

5月 6日 連絡車3台配置。鞍手、小竹、若宮の各出張所に配置。

10月 1日 職員1名採用。

昭和58年

4月 9日 二代消防長、三島保退職。

4月10日 三代消防長に麻生幸次就任。

12月 1日 消防本部(署)新庁舎建設工事着工。

昭和59年

4月 5日 職員2名採用。

7月 7日 消防本部(署)新庁舎竣工。

7月23日 消防本部(署)新庁舎(宮田町大字宮田字浮州16-1)に移転。

12月 1日 職員1名採用。

昭和60年

9月24日 福岡県共済農業共同組合連合会から救急車1台の寄贈を受ける。

11月27日 救急車1台更新整備。

12月11日 救助工作器具(エアーツール、エアーソー、マイティーバック)購入。

12月24日 15m級バスケット付はしご消防ポンプ自動車1台本署配置。(国庫補助)

昭和61年

2月26日 救助マット一式購入。

5月 8日 潜水救助器具一式購入。

11月21日 救助用ゴムボート一式購入。

### 昭和62年

8月 7日 日本消防協会から救急車1台の寄贈を受ける。

### 昭和63年

- 4月 1日 職員2名採用。
- 7月 2日 指令車1台更新整備。
- 12月 7日 宮田・若宮ライオンズクラブから広報車1台の寄贈を受ける。
- 12月19日 大型水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)更新整備。

### 平成元年

- 4月 1日 職員2名採用。
- 4月20日 人員搬送車(26人乗り)1台配置。
- 9月 1日 幼年消防クラブ結成。(8クラブ、1,150名)
- 11月28日 幼年消防クラブ結成。(8クラブ、930名)

### 平成2年

- 4月 1日 職員1名採用。
- 10月 5日 無線局呼び出し名称の変更。(基地局、固定局、移動局)
- 12月20日 救助工作車1台配置。

### 平成3年

- 4月 1日 定数条例改正により定数86名となる。
- 4月 1日 職員5名採用。

### 平成4年

- 3月10日 消防通信指令装置(I型)運用開始。(国庫補助)
- 3月27日 トヨタ自動車九州株式会社から救急車1台の寄贈を受ける。
- 3月30日 消防警報システム整備工事を行う。(サイレン自動吹鳴設備)
- 3月30日 救急無線波を開局。(固定局1、移動局5)
- 3月31日 三代消防長、麻生幸次退職。
- 4月 1日 四代消防長に生武一郎就任。
- 4月 1日 職員1名採用。

### 平成5年

- 1月31日 消防緊急通信指令施設(地図等検索装置)導入。
- 1月31日 救急統計処理装置導入。
- 4月19日 公用車1台更新整備。
- 8月10日 定数条例改正により定数101名となる。
- 10月 1日 職員13名採用。

### 平成6年

- 3月 1日 消防緊急通信指令施設(支援情報検索処理装置)導入。
- 3月22日 高度救急資機材購入。(県補助事業)
- 3月31日 四代消防長、生武一郎退職。
- 4月 1日 五代消防長に片山末男就任。
- 4月 8日 日本損害保険協会から化学消防自動車1台の寄贈を受ける。
- 1月20日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新整備。(鞍手出張所配置)

### 平成7年 2月18日 阪神・淡路大震災に伴う応援出動。 化学車1台(8名) 4月 1日 職員6名採用。 聾唖者緊急通報システム(FAX)導入。 4月 1日 11月14日 救急救命士資格1名取得。 平成8年 救急車2台更新整備。(鞍手、若宮各出張所配置) 1月23日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新整備。(若宮出張所配置) 3月28日 日本損害保険協会から高規格救急車1台の寄贈を受ける。 救急救命士資格1名取得。(2名) 11月19日 平成9年 1月13日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新整備。(小竹出張所配置) 1月14日 資材運搬車1台配置。 查察車1台配置。 6月20日 平成10年 救急救命士資格1名取得。(3名) 1月16日 3月12日 救急車1台更新整備。(小竹出張所配置) 3月19日 連絡車3台配置。鞍手、小竹、若宮の各出張所に配置。 職員1名採用。 4月 1日 11月16日 救急救命士資格1名取得。(4名) 平成11年 高規格救急車1台更新整備。(鞍手出張所配置) 1月11日 7月14日 鞍手出張所新庁舎工事着工。 広報車1台更新整備。 8月20日 11月18日 救急救命士資格1名取得。(5名) 平成12年 2月28日 鞍手出張所新庁舎竣工。 4月 1日 職員1名採用。 7月 5日 指令車1台更新整備。 11月 6日 救急救命士資格1名取得。(6名) 平成13年 救急救命士資格1名取得。(7名) 11月19日 平成14年 職員1名採用。 4月 1日 小竹、若宮救急車改造。(高度救命資機材整備) 7月23日

11月21日 救急救命士資格1名取得。(8名)

平成15年

11月17日 救急救命士資格1名取得。(9名)

12月 1日 高規格救急車1台更新整備。(本署配置)

```
平成16年
  11月 9日
         救急救命士資格1名取得。(10名)
         救助工作車1台更新整備。(本署配置)
  11月10日
平成17年
          救急救命士資格1名取得。(11名)
  11月11日
  11月29日
          高規格救急車1台更新整備。(若宮出張所配置)
平成18年
   2月11日
          宮田町、若宮町が合併。宮若市発足。
          五代消防長、片山末男退職。
   3月31日
   4月 1日
         六代消防長に郡司嶋剛就任。
   4月 1日
          職員2名採用。
平成19年
   1月29日
          特殊災害対策対応訓練。(NBC災害) 庁舎敷地内 (84名)
          多数傷病者事故対策訓練。 宮若市宮田(市役所敷地内)(40名)
   1月30日
   3月31日 六代消防長、郡司嶋剛退職。
   4月 1日
         七代消防長に勝木正之就任。
          救急救命士資格1名取得。(12名)
   5月15日
平成20年
         署内警防(救助)訓練。(80名)
   2月12日
   2月13日
         同 上
   4月 1日
          職員1名採用。
   4月25日
          救急救命士資格1名取得。(13名)
平成21年
   4月24日
         救急救命士資格1名取得。(14名)
  10月26日
          署内警防(火災防御)訓練。(80名)
  10月27日
         同 上
平成22年
          高規格救急車1台更新整備。(小竹出張所配置)
   2月 1日
   4月 1日
          職員1名採用。
   4月24日
          救急救命士資格1名取得。(15名)
   6月25日
          若宮出張所新庁舎竣工。
   9月20日
          携帯・IP電話発信地位置表示システム導入。
  10月22日
          潜水救助隊用乾燥室竣工。
         瓦礫救助救出訓練。(18名)
  11月24日
         同上
  11月25日
平成23年
          東日本大震災 緊急消防援助隊出動。 救急車1台 支援車1台(5名)
   3月14日
          七代消防長、勝木正之退職。
   3月31日
   4月 1日
         八代消防長に堀悦雄就任。
```

4月 1日

4月10日

職員2名採用。

救急救命士資格1名取得。(16名)

# 平成24年 1月 3月

- 1月26日 高規格救急車1台更新整備。(鞍手出張所配置)
- 3月15日 大型水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台更新整備。(本署配置)
- 4月 1日 職員2名採用。
- 8月 4日 救急救命士資格1名取得。(17名)

### 平成25年

- 3月29日 化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台更新整備。(本署配備)
- 3月31日 八代消防長、堀悦雄退職。
- 4月 1日 九代消防長に末吉毅就任。
- 4月 1日 福岡県消防学校へ教官として職員1名派遣。(2年間)
- 4月 1日 職員5名採用。
- 4月25日 公用車1台更新整備。
- 5月14日 查察車1台更新整備。
- 11月29日 救急救命士資格1名取得。(18名)

### 平成26年

- 1月30日 通信指令室移設改修及び高機能通信指令システム仮運用。
- 2月14日 高規格救急車1台更新整備。(本署配置)
- 3月15日 救急救命士資格1名取得。(19名)
- 4月 1日 高機能通信指令システム整備。
- 4月 1日 職員11名採用。
- 12月 2日 梯子付消防自動車1台更新整備。(30m級)

### 平成27年

- 3月 2日 人員搬送車1台更新整備。(本署配置)
- 3月 4日 高規格救急車1台更新整備。(若宮出張所配置)
- 4月 1日 職員11名採用。
- 7月 2日 連絡車1台更新整備。(若宮出張所配置)
- 7月 2日 連絡車1台更新整備。(小竹出張所配置)
- 7月 2日 連絡車1台更新整備。(鞍手出張所配置)
- 9月18日 救急救命士資格1名取得。(20名)
- 12月 1日 消防・救急デジタル無線運用開始。(アナログ無線併用)
- 12月18日 水槽付消防ポンプ自動車(I型)1台更新整備。(鞍手出張所配置)
- 12月25日 救急救命士資格1名取得。(21名)

### 平成28年

- 3月29日 指揮車1台配置。(本署配置)
- 3月31日 救急救命士資格者2名退職。(19名)
- 3月31日 九代消防長、末吉毅退職。
- 4月 1日 十代消防長に原田修司就任。
- 4月 1日 職員4名採用。
- 11月17日 水槽付消防ポンプ自動車(I型)1台更新整備。(若宮出張所配置)

```
平成29年
   3月13日
          救急救命士資格1名取得。(20名)
          救急救命士資格者2名退職。(18名)
   3月31日
   4月 1日 職員6名採用。(救急救命士資格保持者1名含む)
          後方支援車1台配置。(本署配置)
  10月30日
平成30年
   1月30日
          救助訓練塔 (7 m) 竣工。
   3月 5日
          消防本部庁舎裏車庫竣工。
          救急救命士資格1名取得。(19名)
   3月12日
   3月13日
          水槽付消防ポンプ自動車(I型)1台更新整備。(小竹出張所配置)
   4月 1日
          職員3名採用。(救急救命士資格保持者1名含む)
平成31年
   3月 1日
          救助工作車1台更新整備。(本署配置)
   3月11日
          救急救命士資格1名取得。(20名)
   3月31日
          救急救命士資格者2名退職。(18名)
          職員3名採用。(救急救命士資格保持者1名含む)
   4月 1日
令和2年
          資材運搬車1台更新整備。(本署配置)
   2月 1日
   3月31日
         救急救命士資格1名取得。(19名)
   4月 1日
         職員4名採用。
          (有) 若宮 セルフ ニコニコ倶楽部SSから宮田連絡車1台の寄贈を受ける。
  12月11日
          (本署配置)
令和3年
   1月 5日
          救急救命士資格2名取得。(21名)
   1月29日
          救急車1台更新整備。(鞍手出張所配置)
   3月31日
          十代消防長、原田修司退職。
          救急救命士資格者1名退職、1名取得。(21名)
   3月31日
   3月31日
          女性専用更衣室及び仮眠室改装。
          十一代消防長に水野智徳就任。
   4月 1日
          職員3名採用。(救急救命士資格保持者2名含む)
   4月 1日
  12月20日
          救急救命士資格1名取得。(22名)
令和4年
   3月31日
          救急救命士資格1名取得。(23名)
令和5年
          高規格救急車1台更新整備。(小竹出張所配置)
   1月27日
          救急救命士資格1名取得。(24名)
   3月13日
   3月27日
          女性専用浴室改装。
```

4月 1日 職員1名採用。

### 令和6年

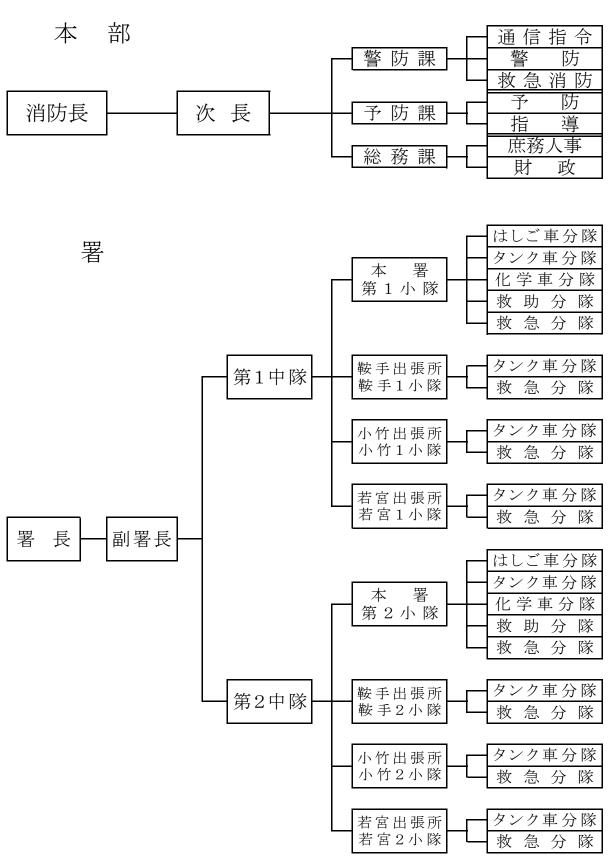
1月26日 高規格救急車1台更新配備。(本署配置)

3月31日 救急救命士資格者1名退職、1名取得。(24名)

4月 1日 職員2名採用。(救急救命士資格保持者1名含む)

# 4. 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部の

# 機構及び署の組織



# 5. 消防相互応援協定の状況

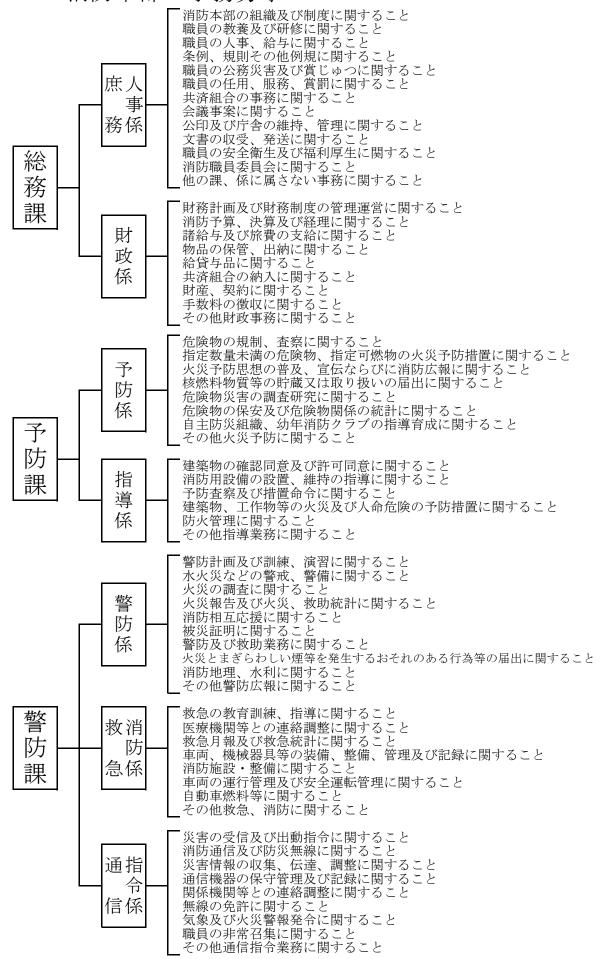
協定名	締結年月日	協定消防本部等	応援内容
筑豊地区常備 消防相互応援協定	昭和47年10月16日	飯塚地区消防組合 田川地区消防組合 直 方 市	火災・ その他災害
遠賀、中間地域広域行政事務組合、 直方·鞍手広域市町村圏事務組合、 宗像地区消防組合 常備消防相互応援協定	昭和54年6月1日	遠賀、中間地域 広域行政事務組合 宗像地区消防組合	火災・ その他災害
中間市、 直方鞍手広域市町村圏事務組合 応援協定	昭和55年12月26日	中間市	水火災・ その他災害
高速自動車道における 消防相互応援協定	平成18年6月30日	福岡県内 17消防本部	火災·事故 (高速道路)
福岡県 消防相互応援協定	平成元年 3月25日	福岡県内全市町村 及び 全消防本部	大規模災害
直方·鞍手広域市町村圏事務組合、 粕屋南部消防組合 消防相互応援協定	平成元年 5月 1日	粕屋南部消防組合	火災・ その他災害
北九州市と 直方・鞍手広域市町村圏事務組合との 消防相互応援協定	平成27年10月1日	北九州市	水火災その他災害

# 6. 消防本部管轄区域及び消防力の配置図



二 総務編

## 1. 消防本部の事務分掌



# 2. 歴代消防長

初代	上尾 繁雄	就任 昭和50年3月 1 日	退任 昭和57年4月30日
二代	三島 保	就任 昭和57年5月 1 日	退任 昭和58年4月 9 日
三 代	麻生 幸次	就任 昭和58年4月10日	退任 平成 4 年3月31日
四代	生武 一郎	就任 平成 4 年4月 1 日	退任 平成 6 年3月31日
五 代	片山 末男	就任 平成 6 年4月 1 日	退任 平成18年3月31日
六 代	郡司嶋 剛	就任 平成18年4月 1 日	退任 平成19年3月31日
七代	勝木 正之	就任 平成19年4月 1 日	退任 平成23年3月31日
八 代	堀 悦雄	就任 平成23年4月 1 日	退任 平成25年3月31日
九代	末吉 毅	就任 平成25年4月 1 日	退任 平成28年3月31日
十 代	原田 修司	就任 平成28年4月 1 日	退任 令和 3 年3月31日
十一代	水野 智徳	就任 令和 3 年4月 1 日	現在に至る

# 3. 消防職員に対する人口・世帯数調べ (令和6年4月1日現在)

区 分	令和3年	令和4年	令和5年
消防職員一人当りの人口	5 5 9 . 7	5 5 5 . 0	5 5 3. 9
消防職員一人当りの世帯数	277.0	2 7 8. 0	283.2

# 4. 階級別職員数調べ

(令和6年4月1日現在)

区分	合 計			消	防 吏	員			事務
		監	司令長	司令	司令補	士長 (再任用)	副士長	士	職員
職員数	87 (1)	0	1	7	13	52 (1)	0	14	0

※再任用及び現職を合わせて87名 ※() は再任用職員数

# 5. 消防職員の任用状況調べ

(令和6年4月1日現在)

区	分	合 計		消防吏員							
	Ŋ	合計	監	司令長	司令	司令補	士長 (再任用)	副士長	士	事務職員	
採	用	2	0	0	0	0	0 (0)	0	2	0	
昇	任	3	0	0	0	1	2	0	0	0	

※() は再任用職員数

6. 本部・署所における職員の配置状況調べ (令和6年4月1日現在)

	区		合		消	<u>ロコロ</u>	1/\ 1/\ 1 1	更 更	員	[6年4月]	70 (12)
	分	•	計	監	司令長	司令	司令補	士長 (再任用)	副士長	士	事務職員
/	合	計	87 (1)	0	1	7	13	52 (1)	0	14	0
	消	防長	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	次	長	*1	0	0	*1	0	0	0	0	0
		課長	1	0	0	1	0	0	0	0	0
消	総	課長補佐	1	0	0	1	0	0	0	0	0
113	₹⁄~	財政係	4	0	0	0	2	1	0	1	0
防	務	庶 務 人事係	5	0	0	0	1	2	0	2	0
	課	総務課付	2	0	0	0	0	0	0	2	0
本	H/IN	総務課 参事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	警	課長	1	0	0	1	0	0	0	0	0
部	言	課長補佐	1 8	0	0	1 0	0	<u>0</u> 5	0	0	0
	防	警防係 教 急	8	0	0	0	2	$\frac{3}{4}$	0	2 2	0
•	課	消防係 通 信 指令係	6	0	0	0	1	5	0	0	0
	<b>→</b>	課長	1	0	0	1	0	0	0	0	0
署	予	課長補佐	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	防	指導係	8	0	0	0	2	6	0	0	0
	課	予防係 予防課	8	0	0	0	1	5	0	2	0
		参 事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鞍	警 第 条	5	0	0	0	1	3	0	1	0
出	手	警 第 条	6 (1)	0	0	0	1	$\begin{pmatrix} 4 \\ (1) \end{pmatrix}$	0	1	0
張	小	警 1 系	5	0	0	0	0	5	0	0	0
	竹	警 第 条 条	5	0	0	0	1	4	0	0	0
所	若	警 第 系 8	5	0	0	0	0	4	0	1	0
	饱	警 第 条 8	5	0	0	1	0	4	0	0	0
初日	£教·	育入校	2	0	0	0	0	0	<b>0</b> 及び現職を	2	0

※再任用及び現職を合わせて87名 ※()は再任用職員数 ※次長・総務課長は兼務

# 7. 消防職員階級年齢別状況調べ

(令和6年4月1日現在)

区公	合計	消	当	防		吏		Ę	·事務職員
区分		監	司令長	司令	司令補	士長 (再任用)	副士長	士	事伤喊貝
職員数	87 (1)	0	1	7	13	52 (1)	0	14	0
平均年齡	38	0	57	53	46	38	0	25	0
20才未満	1	0	0	0	0	0	0	1	0
20才~24才	7	0	0	0	0	0	0	7	0
25才~29才	19	0	0	0	0	14	0	5	0
30才~34才	18	0	0	0	0	17	0	1	0
35才~39才	6	0	0	0	1	5	0	0	0
40才~44才	5	0	0	0	5	0	0	0	0
45才~49才	8	0	0	0	2	6	0	0	0
50才~54才	16	0	0	5	5	6	0	0	0
55才~59才	6	0	1	2	0	3	0	0	0
60才以上	$\frac{1}{(1)}$	0	0	0	0	$\frac{1}{(1)}$	0	0	0

※再任用及び現職を合わせて87名

※() は再任用職員数

# 8. 消防職員勤続年数調べ

(令和6年4月1日現在)

(14) (17) (17) (17) (17) (17)									
区分	合計	消	当	防		吏		1	事務職員
区 刀		監	司令長	司令	司令補	士長 (再任用)	副士長	士	事伤喊貝
職員数	87 (1)	0	1	7	13	52 (1)	0	14	0
平均勤続年数	17	0	31	32	26	16	0	4	0
0年~4年	10	0	0	0	0	0	0	10	0
5年~9年	21	0	0	0	0	17	0	4	0
10年~14年	19	0	0	0	0	19	0	0	0
15年~19年	3	0	0	0	3	0	0	0	0
20年~24年	2	0	0	0	2	0	0	0	0
25年~29年	7	0	0	3	3	1	0	0	0
30年~34年	20	0	1	2	5	12	0	0	0
35年~39年	4	0	0	2	0	2	0	0	0
40年以上	1 $(1)$	0	0	0	0	$\frac{1}{(1)}$	0	0	0

※再任用及び現職を合わせて87名 ※() は再任用職員数

# 9. 年間教養委託状況調べ

科目	委 託 人 数	実施期間(日)	研修場所
第139回初任教育	1	115日	福岡県消防学校
第40回救急科	1	48日	福岡県消防学校
第38回救助科	1	29日	福岡県消防学校
第11回特殊災害科	1	9日	福岡県消防学校
第17回警防実務研修	2	5 日	福岡県消防学校
第1回水難救助実務研修	1	5 日	福岡県消防学校
消防大学校幹部科74期	1	46日	消防大学校
九州地区予防実務研修会	1	12日	福岡市消防学校
第42期救急救命士研修課程	1	193日	救急救命九州研修所
指導救命士養成研修	1	4 3 日	救急救命九州研修所
就業前病院研修	2	60日	飯塚病院
広報紙作成力向上研修	1	1 日	市町村職員研修所
第5回新任係長研修	1	2 日	市町村職員研修所
地方公会計研修	1	1 月	市町村職員研修所
クレーム対応基礎研修	1	1日	市町村職員研修所
ハードクレーム対応研修	1	1 日	市町村職員研修所
ハラスメント防止研修	1	1日	市町村職員研修所
算定基礎届事務講習会	1	1日	ユメニティのおがた
大型自動車運転免許取得	2		おんが自動車学校
玉掛け技能講習	2	6 日	PEO建機教育センター
小型移動式クレーン技能講習	2	6 日	PEO建機教育センター
公務災害事務担当者研修会	1	1日	消防本部 小会議室
消防大学校特別講習会 西日本地域聴講	1	1日	消防本部 通信指令室

# 10. 消防職員の特殊技能資格者数調べ

ŀ	<b>三</b> 分	合計		消	防	•	吏	員		事務職員
<u> </u>	<u> </u>		監	司令長	司令	司令補	士長 (再任用)	副士長	士	ず彷袱貝
聙	量 数	87 (1)	0	1	7	13	52 (1)	0	14	0
自動	普通1種	87 (1)	0	1	7	13	52 (1)	0	14	0
車運転	大型1種	70 (1)	0	1	7	12	47 (1)	0	3	0
免許	中 型	5	0	0	0	1	4	0	0	0
	無線技士	84 (1)	0	1	7	13	51 (1)	0	12	0
無	救急救命士 (再任用含めず)	25	0	0	2	7	15	0	1	0
線	乙種危険物 取扱者	39	0	0	3	4	28	0	4	0
免	潜水士 (再任用含めず)	23	0	1	3	5	11	0	3	0
<b>許</b>	予防技術資格者 (再任用含めず)	33	0	1	4	11	17	0	0	0
そ	消防設備士 (再任用含めず)	4	0	0	1	2	1	0	0	0
0	小型移動 クレーン技能	44 (1)	0	1	6	11	26 (1)	0	0	0
他	玉掛け技能	45 (1)	0	1	6	11	26 (1)	0	1	0
	衛生管理者	5	0	1	2	1	1	0	0	0

※再任用及び現職を合わせて87名

※() は再任用職員数

# 11. 現有消防力調べ

(令和6年4月1日現在)

<u>/</u> 区	署・出張所 分	宮田消防署	若宮出張所	鞍手出張所	小竹出張所	\ = 1
所	在 地	福岡県宮若市 宮田16番地1	福岡県宮若市 福丸260番地1	福岡県鞍手郡 鞍手町大字新延 6番地11	福岡県鞍手郡 小竹町大字勝野 3372番地2	合計
<b>#</b> 7	水槽付消防 ポンプ自動車	1	1	1	1	4
配	高 規 格 救 急 車	2	1	1	1	5
置	化 学 車	1	0	0	0	1
車	はしご車	1	0	0	0	1
両	救助工作車	1	0	0	0	1
11	その他の 車 両	8	1	1	1	11
車	両 合 計	14	3	3	3	23
職	員 数	56	10	11(1)	10	87(1)

※再任用及び現職を合わせて87名 ※() は再任用職員数

# 12. 消防力の整備指針と現有消防力

(令和6年4月1日現在)

	-	車 両		人	員	
	基準数	現有数	不足数	基準数	現有数	不足数
消防ポンプ自動車	6	4	2	60		
はしご自動車	1	1	0	10		
化学消防自動車	1	1	0	10		
救 急 自 動 車	3	5	$\triangle$ 2	18		
救 助 工 作 車	1	1	0	10		
小計 ア	12	12	0	108	72(1)	36
通 信 員				6	6	0
庶務の処理等の人員				11	7	4
予 防 要 員				15	2	13
小計 イ				32	15	17
合計 ア+イ	12	12	0	140	87(1)	53

※条例定数 101名

※再任用及び現職を合わせて87名 ※() は再任用職員数

# 13. 事務組合構成市町消防決算額調べ

(単位 千円)

区分	常備消防	非常備消防	その他の消防	合 計
宮若市	392, 716	47, 434	17, 825	457, 975
鞍手町	252, 840	14, 721	35, 653	303, 214
小竹町	168, 087	13, 913	3, 859	185, 859
合 計	813, 643	76, 068	57, 337	947, 048

# 14. 事務組合構成市町消防決算額と

一般会計との比較調べ

(単位 千円)

区分	一般会計	消防決算額	比較	%
宮若市	17, 762, 833	457, 975		2.6%
鞍手町	10, 469, 025	303, 214		2.9%
小竹町	7, 029, 179	185, 859		2.6%
合 計	35, 261, 037	947, 048		2. 7%

# 15. 事務組合構成市町消防決算額 に対する住民の負担状況調べ

(単位 千円)

区分	人		<del>   -</del>	世	常消		非常	常備	常備	消防	非常值	<b></b>
<b>卢</b> 刀	八		世帯	消	防	消防	一人当り	世帯当り	一人当り	世帯当り		
宮若市	26,	298	10,	540	392,	716	47,	434	14. 9	37. 3	1.8	4. 5
鞍手町	15,	080	6,	263	252,	840	14,	721	16.8	40. 4	1.0	2. 4
小竹町	7,	151	3,	210	168,	087	13,	913	23. 5	52. 4	1.9	4. 3
合計	48,	529	20,	013	813,	643	76,	068	16.8	40. 7	1.6	3.8

※人口及び世帯は令和2年国勢調査による。

# 16. 事務組合常備消防決算額(歳出)調べ

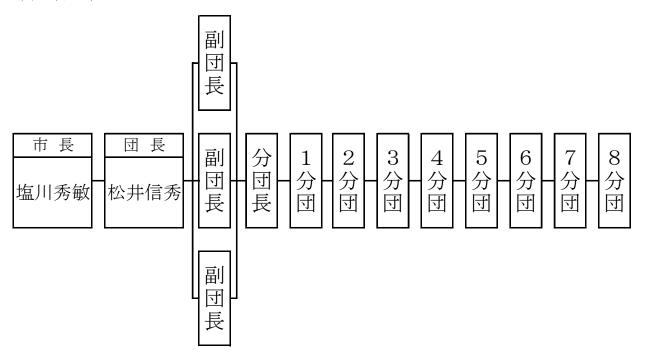
(単位 円)

款	項	目	節	令和5年度決算額				
消			給料	308, 110, 436				
		広	職員手当等	229, 650, 107				
	   消		共 済 費	110, 223, 523				
	113	域	災害補償費	0				
			報 償 費	214, 300				
		常	旅費	3, 210, 394				
			交際費	30, 980				
		備	需 用 費	26, 287, 742				
			役 務 費	9, 232, 946				
防	防	消	委 託 料	21, 673, 850				
19/J	197		使用料及び賃借料	5, 222, 346				
			工事請負費	9, 186, 100				
		17-1-4	原材料費	5, 760				
		防	備品購入費	14, 132, 331				
	費	費	負担金補助及び交付金	14, 698, 413				
			積 立 金	39, 744, 681				
費		 	書	書	書		公 課 費	438, 700
		月   消防施     一   2     2   3     3   4     4   4     4   4     5   4     6   4     7   4     8   4     9   4     9   4     10   4     10   4     11   4     12   4     12   4     13   4     14   4     15   4     16   4     17   4     18   4     19   4     10   4     10   4     10   4     10   4     10   4     10   4     10   4     10   4     11   4     12   4     12   4     13   4     14   4     15   4     16   4     17   4     17   4     18   4     18   4     19   4     10   4     10   4     10   4     10   4     10   4     10   4     10   4     1	委 託 料	14, 850, 000				
			工事請負費	3, 499, 100				
			備品購入費	42, 867, 000				
公債	公 債		償還金利子及び割引料	4, 162, 916				
債 費 ———————————————————————————————————	費		償還金利子及び割引料	120, 374				
			備費	0				
	消	f	ī 費 総 計	857, 561, 999				

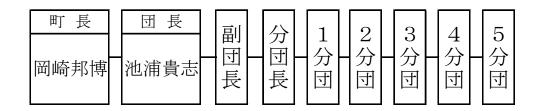
# 三 消 防 団

### 1. 消防団組織図

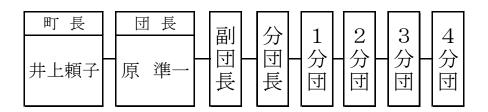
宮 若 市



鞍 手 町



小 竹 町



# 2. 消防団員数調べ

宮若市

区分	小 計	団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団員
本 部	14	1	3	0	0	0	0	10
1 分 団	27	0	0	1	1	4	5	16
2 分 団	34	0	0	1	1	3	6	23
3 分 団	32	0	0	1	1	4	5	21
4 分 団	42	0	0	1	1	4	6	30
5 分 団	34	0	0	1	1	3	6	23
6 分 団	58	0	0	1	1	2	7	47
7 分 団	61	0	0	1	1	2	9	48
8 分 団	60	0	0	1	1	2	6	50
合 計	362	1	3	8	8	24	50	268

### 鞍手町

区分	小 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団員
本 部	20	1	1	0	0	0	1	17
1 分 団	28	0	0	1	1	0	4	22
2 分 団	26	0	0	1	1	0	4	20
3 分 団	35	0	0	1	1	0	5	28
4 分 団	16	0	0	1	1	0	4	10
5 分 団	25	0	0	1	1	0	3	20
合 計	150	1	1	5	5	0	21	117

### 小竹町

区	分	小 計	団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
本	部	2	1	1	0	0	0	0	0
1 分	· 回	22	0	0	1	1	3	6	11
2 分	· 回	15	0	0	1	1	2	5	6
3 分	· 回	26	0	0	1	1	3	6	15
4 分	・団	28	0	0	1	1	2	5	19
合	計	93	1	1	4	4	10	22	51

### 3-1. 消防団員階級年齢別状況調べ

(宮若市)
-------

階級別 年齢別	小 計	団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班長	団員
20才未満	1	0	0	0	0	0	0	1
20~24才	2	0	0	0	0	0	0	2
25~29才	16	0	0	0	0	0	0	16
30~34才	14	0	0	0	0	0	0	14
35~39才	26	0	0	0	0	0	3	23
40~44才	45	0	0	0	0	1	2	42
45~49才	77	0	0	0	0	4	10	63
50~54才	57	0	0	0	0	2	11	44
55~59才	52	0	0	1	1	3	12	35
60~64才	45	0	3	3	5	10	8	16
65~69才	17	0	0	2	2	4	3	6
70才以上	10	1	0	2	0	0	1	6
合 計	362	1	3	8	8	24	50	268

### 3-2. 消防団員階級年齢別状況調べ

### (鞍手町)

階級別 年齢別	小 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団員
20才未満	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24才	5	0	0	0	0	0	0	5
25~29才	12	0	0	0	0	0	0	12
30~34才	14	0	0	0	0	0	1	13
35~39才	13	0	0	0	0	0	1	12
40~44才	26	0	0	1	0	0	4	21
45~49才	43	0	0	2	5	0	13	23
50~54才	22	0	0	1	0	0	2	19
55~59才	7	0	0	0	0	0	0	7
60~64才	3	0	1	1	0	0	0	1
65~69才	4	0	0	0	0	0	0	4
70才以上	1	1	0	0	0	0	0	0
合 計	150	1	1	5	5	0	21	$\overline{117}$

# 3-3. 消防団員階級年齢別状況調べ

### (小竹町)

階級別	小 計	団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団員
年齢別 20才未満	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24才	6	0	0	0	0	0	0	6
25~29才	6	0	0	0	0	0	0	6
30~34才	5	0	0	0	0	0	0	5
35~39才	14	0	0	0	1	2	3	8
40~44才	10	0	0	0	0	0	3	7
45~49才	12	0	0	0	0	1	3	8
50~54才	15	0	0	1	2	1	4	7
55~59才	11	0	0	1	1	3	5	1
60~64才	10	0	1	1	0	2	3	3
65~69才	2	0	0	0	0	1	1	0
70才以上	2	1	0	1	0	0	0	0
合 計	93	1	1	4	4	10	22	51

# 4. 消防団員出場人員状況調べ

区 分	計	火災等	風水害等	特別警戒	教養訓練	広 報
宮若市(計)	4,606	196	10	335	3,850	215
本 部	233	12	0	5	210	6
1 分 団	480	42	5	51	360	22
2 分 団	375	30	0	22	308	15
3 分 団	400	28	0	29	319	24
4 分 団	572	41	0	38	476	17
5 分 団	386	21	0	30	322	13
6 分 団	664	3	0	47	583	31
7 分 団	718	8	0	57	610	43
8 分 団	778	11	5	56	662	44
鞍手町(計)	447	284	51	0	112	0
本 部	59	42	3	0	14	0
1 分 団	89	60	10	0	19	0
2 分 団	63	35	7	0	21	0
3 分 団	94	58	15	0	21	0
4 分 団	56	37	3	0	16	0
5 分 団	86	52	13	0	21	0
小竹町(計)	2,475	98	5	662	1,593	117
本 部	62	6	1	8	43	4
1 分 団	601	24	0	168	379	30
2 分 団	518	17	0	132	346	23
3 分 団	620	30	0	168	394	28
4 分 団	674	21	4	186	431	32
総計	7,528	578	66	997	5,555	332

# 5. 消防団現有消防力・現有ホース数調べ

	_	区分		車「	5 等		ホース数
分団々	<b>人</b> 名		タンク車	ポンプ車	可搬積載車	可般ポンプ	かーク剱
宮君	吉市	(計)	2	9	8	31	347
本		部	0	1	0	1	0
1	分	寸	0	2	0	2	66
2	分	寸	0	2	0	2	35
3	分	寸	0	2	0	2	18
4	分	団	0	0	4	2	47
5	分	寸	0	0	3	0	34
6	分	寸	2	0	0	7	43
7	分	寸	0	1	0	10	54
8	分	寸	0	1	1	5	50
鞍号	手町	(計)	0	5	1	3	237
本		部	0	0	1	0	17
1	分	寸	0	1	0	0	28
2	分	寸	0	1	0	0	46
3	分	寸	0	1	0	3	60
4	分	寸	0	1	0	0	33
5	分	寸	0	1	0	0	53
小作	<u> </u>	(計)	2	2	1	0	100
本		部	0	0	1	0	20
1	分	寸	1	0	0	0	20
2	分	寸	0	1	0	0	20
3	分	寸	0	1	0	0	20
4	分	寸	1	0	0	0	20
総		計	4	16	10	34	684

# 四 予 防 編

### 1. 防火管理実施状況調べ及び消防同意処理状況調べ

		甲	種防火対象	勿	Z	1種防火対象	物	
区 分	用途別	防火管理者 選任必要 対象物数	防火管理者 選任済 対象物数	消防計画 作成済 対象物数	防火管理者 選任必要 対象物数	防火管理者 選任済 対象物数	消防計画 作成済 対象物数	消防同意 処理状況
1項	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1	1	0	0	0	0
1 垻	口 公会堂、集会場	19	13	13	5	3	3	1
	キャバレー、カフェ、 イ ナイトクラブ、その他	0	0	0	0	0	0	0
2項	ロ 遊技場、ダンスホール	0	0	0	0	0	0	0
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	0	0	0	0	0	0	0
	二 カラオケボックス等店舗	1	1	1	0	0	0	0
3項	イ 待合、料理店	4	4	3	3	1	1	0
	口 飲食店	14	6	10	18	7	6	1
4項	百貨店、マーケット、店舗 又は展示場	33	24	24	19	6	6	1
5項	イ 旅館、ホテル、宿泊所	23	19	19		1	1	1
0 /	口 寄宿舎、共同住宅	22	15	14	0	0	0	2
	イ 病院、診療所、助産所	38	16	16	1	0	0	0
	老人短期入所施設、養護老人ホーム 口 身体障害者福祉施設、乳児院 知的障害児施設等	73	47	48	0	0	0	1
6項	老人デイサービスセンター 軽費老人ホーム、老人福祉センター 児童養護施設、知的障害児通院施設 厚生施設、助産施設、保育所等	52	34	34	4	3	3	1
	二 幼稚園、特別支援学校	10	6	6	0	0	0	0
7項	小学校、中学校、高等学校、 専門学校、大学、各種学校	29	26	26	0	0	0	1
8項	図書館、博物館、美術館	3	3	3	0	0	0	0
9項	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場	0	0	0	0	0	0	0
J · K	ロ イに掲げる公衆浴場以外の浴場	0	0	0	0	0	0	0
10項	車両の停車場、船舶、 航空機の発着場	0	0	0	0	0	0	0
11項	神社、寺院、教会	11	5	5	12	0	0	
12項	イ 工場、作業場	67	56	54	0	0	0	15
	ロ映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0		0	0	
13項	イ 自動車車庫、駐車場	2	1	1	0	0	0	2
1 4 元年	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫	0	0	0		0	0	0
14項	倉庫 	11	7	7	7	0	0	14
15項	前各号に該当しない事業場 イ 複合用途防火対象物	49 37	40 35	40 34	1	2	1	12
16項	イ 複合用途防火対象物 ロ イ以外の複合用途防火対象物	2		0		0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	6
		501	359	359		24	22	64
	Ц П	501	ამშ	559	(1	44	44	04

区	分	小 計	宮若市	鞍手町	小竹町
1月	同意件数	6	4	0	2
1 月	延べ面積	682. 200	357.750	0.000	324. 450
2月	同意件数	5	3	1	1
2月	延べ面積	634. 040	346. 210	14. 630	273. 200
3月	同意件数	6	4	1	1
ЗД	延べ面積	3, 949. 540	3, 606. 830	124. 210	218. 500
4月	同意件数	6	4	1	1
4 月	延べ面積	1, 886. 380	431.780	550.600	904.000
5月	同意件数	3	3	0	0
ЭД	延べ面積	3, 113. 300	3, 113. 300	0.000	0.000
6月	同意件数	4	2	1	1
ΟД	延べ面積	4, 833. 810	234. 150	197. 970	4, 401. 690
7月	同意件数	9	7	2	0
7 月	延べ面積	9, 397. 440	1, 697. 990	7, 699. 450	0.000
8月	同意件数	3	3	0	0
0月	延べ面積	2, 595. 760	2, 595. 760	0.000	0.000
9月	同意件数	4	4	0	0
9月	延べ面積	5, 785. 490	5, 785. 490	0.000	0.000
10月	同意件数	5	3	2	0
107	延べ面積	2, 838. 080	2, 659. 680	178. 400	0.000
11月	同意件数	8	5	1	2
117	延べ面積	3, 459. 970	3, 288. 740	91. 500	79. 730
1 2月	同意件数	5	3	1	1
14月	延べ面積	5, 920. 850	5, 284. 340	166. 570	469.940
<u></u>	同意件数	64	45	10	9
合計	延べ面積	45, 096. 860	29, 402. 020	9, 023. 330	6, 671. 510

### 3. 危険物製造所等調べ

				,	貯	蔵	所	:		-	取	扱	所	:
区	合口	製造	屋	屋外タ	屋内タ	地下タ	簡易タ	移動タ	屋	給	油	販	売	
分	盐	所	内	アンク	アンク	アンク	アンク	アンク	外	営業用	自家用	第 1 種	第 2 種	般
今年度	201	3	38	27	5	28	0	7	8	14	38	0	0	33
前年度	203	3	38	28	5	27	0	8	9	14	38	0	0	33
増減	△ 2	0	0	△ 1	0	1	0	△ 1	△ 1	0	0	0	0	0

### 4. 容量及び類別屋外タンク貯蔵所数調べ

区分		小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
1 0 0	今年度	27	0	0	0	27	0	0
k l 未満	前年度	28	0	0	0	28	0	0
増	減	$\triangle$ 1	. 0	0	0	$\triangle$ 1	0	0
1 0 0 k l	今年度	(	0	0	0	0	0	0
以上	前年度	(	0	0	0	0	0	0
増	減	(	0	0	0	0	0	0

### 5. 危険物事業所数調べ

		<b>%</b> [	司一事業所	が重複する	, o	
区分	合 計	予防規定 の作成を 要する 事業所数	危険物施 設保安員 を要する 事業所数	危険物統 轄管理者 を要する 事業所数	自衛消防 組織を 要する 事業所数	その他の 事業所数
事業所数	114	17	1	0	0	96

### 6. 危険物製造所等の許認可状況調べ

	<b>∀</b>	分	小	計	許	可	完成	検査
	区	カ	\1, ¤		設置	変更	設置	変更
	製造	造 所		0	0	0	0	0
	炒小山	営業用		1	0	0	1	0
取	給油	自家用		10	1	4	1	4
扱	記古	第1種		0	0	0	0	0
所	販売	第2種		0	0	0	0	0
	_	一般		73	0	36	0	37
	<u>J.</u>	量 内		2	0	1	0	1
	<u>J</u>	量 外		0	0	0	0	0
貯	屋	内タンク		0	0	0	0	0
蔵	屋	外タンク		0	0	0	0	0
所	所 地下タンク			2	1	0	1	0
	移動タンク			0	0	0	0	0
	館	i易タンク		0	0	0	0	0
	合	計		88	2	41	3	42

区分	仮貯蔵	仮取扱	仮使用検査	水張(圧)検査
許認可件数	0	0	36	0

# 7. 危険物製造所等の許認可に係る手数料調べ (冷和5年度分)

	[ <del>]</del>		小 計	設	置	変	更	<b>/</b> 広/古田	水張
	区	分	(円)	許可	完成	許可	完成	仮使用	(圧) 検査
集	型 造	前	0	0	0	0	0	0	0
	給	営業用	133, 200	0	0	78, 000	39, 000	16, 200	0
取	油	自家用	117, 000	52, 000	26, 000	26, 000	13, 000	0	0
扱	販売	第1種	0	0	0	0	0	0	0
所	売	第2種	0	0	0	0	0	0	0
	1	般	1, 830, 050	0	0	1, 092, 000	565, 250	172, 800	0
	屋	内	19, 500	0	0	13, 000	6, 500	0	0
	屋	外	0	0	0	0	0	0	0
貯	屋内	アタンク	6, 500	0	0	0	6, 500	0	0
蔵	屋外	トタンク	0	0	0	0	0	0	0
所	地下	ドタンク	50, 900	26, 000	0	13, 000	6, 500	5, 400	0
	移重	カタンク	0	0	0	0	0	0	0
	簡易	ラシク	0	0	0	0	0	0	0
	合	#	2, 157, 150	78, 000	26, 000	1, 222, 000	636, 750	194, 400	0

# 8. 危険物保安監督者を必要とする施設数及び 危険物施設等の査察実施状況調べ

]	<del>X</del>	分	危険物保安監督者必要数 危険物保安監督者必要数	查察実施件数
製	上造	所	3	0
	公小山	営業用	13	24
取	給油	自家用	39	24
扱	記書	第1種	0	0
所	販売	第2種	0	0
	_	般	16	1
	屋	内	35	10
	屋	外	0	2
貯	屋内么	タンク	2	1
蔵	屋外么	タンク	27	10
所	地下	タンク	5	6
	移動。	タンク	0	6
	簡易	タンク	0	0
危険	危険物運搬車両		0	0
合 計			140	84

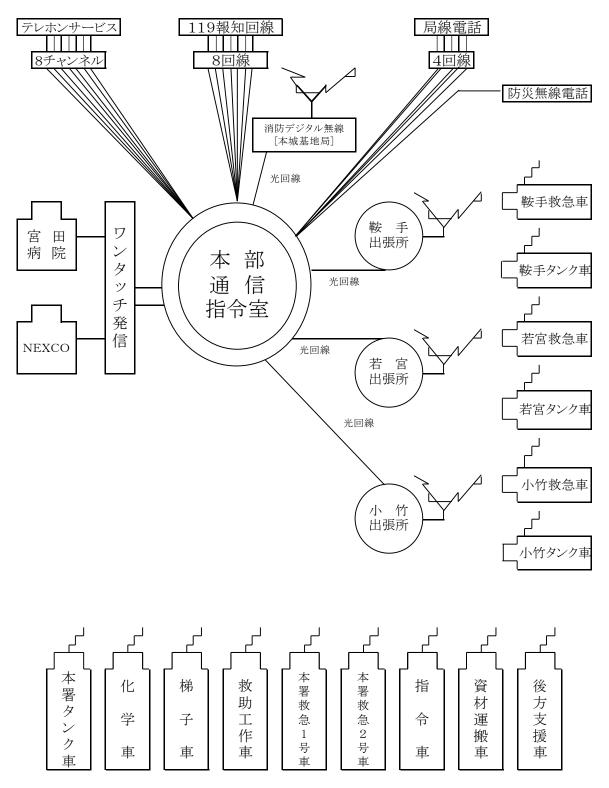
# 9. 火災予防条例に基づく各種届出書の提出状況調べ

区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	計
指定可燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
圧縮アセチレンガス 液化石油ガス届出書		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
炉、かまど ボイラー等 設置届出書	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	0	5
発電設備 変電設備設置届出 蓄電池設備	事 3	1	4	0	0	1	1	1	3	0	1	4	19
水素ガスを充填する気球の設置届出書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
催し物開催届出書	0	1	1	2	2	0	0	0	1	0	2	0	9
防火対象物 使用開始届出書	2	2	4	2	1	2	5	2	3	2	8	12	45
煙火打ち上げ届出書	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
火災とまぎらわしい 行為の届出書	` 28	22	21	22	21	20	20	14	22	23	26	31	270
片側・全面 通行止届出書	29	19	16	10	11	37	11	9	30	18	32	14	236
計	62	45	46	36	35	61	38	27	60	45	73	61	589

# 五 警防編

### 1. 通信系統図

令和6年4月



# 2. 署所現有自動車性能調べ

車名	区分	年式	種 別	車体	放水量 規格	放水圧 規格	購入年月日
	梯子車	平26	30m級梯子付き自動車	QPG-FH1ALDA改			平成26年 12月
	本署タンク車	平24	水槽付消防ポンプ自動車	LDG-FE7JJAA改	3,000	8.5	平成24年 3月
	資材運搬車	令 2		LDF-KYD281			令和2年 1月
	化学車	平25	化学消防ポンプ自動車	SDG-GD7JGAA改	2,250	8.7	平成25年 3月
本	救助工作車	平31	救助工作車Ⅱ型	2KG-GX2ABA改			平成31年 1月
<b>₩</b>	本署救急1号車	令 6	高規格救急車	CBF-TRH226S			令和 6年 1月
部	本署救急2号車	平26	高規格救急車	CBF-TRH226S			平成26年 2月
	後方支援車	平29		DBA-NT32			平成29年 10月
	公用車	平25		DAA-ZVW30			平成25年 5月 (リース)
署	人員搬送車	平27		CBF-DS4E26			平成27年 2月
	査察車	平25		DAA-ZVW41W			平成25年 5月 (リース)
	指令車	平28		CBF-TRH200V			平成28年 3月
	宮田連絡車	令 2		EBD-S331V			令和 2年 12月 (ニコニコ倶楽部SS から寄贈)
	鞍手タンク車	平27	水槽付消防ポンプ自動車	SDG-GD7JGAA改	2,530	8.3	平成27年 12月
	小竹タンク車	平30	水槽付消防ポンプ自動車	2DG-GD2ABA	2,530	8.3	平成30年 3月
出	若宮タンク車	平28	水槽付消防ポンプ自動車	SDG-GD7JGAA改	2,530	8.3	平成28年 11月
	鞍手救急車	令 3	高規格救急車	3BF-TRH226S			令和 3年 1月
張	小竹救急車	令 5	高規格救急車	3BF-TRH226S			令和 5年 1月
	若宮救急車	平27	高規格救急車	CBF-TRH226S			平成27年 3月
所	鞍手連絡車	平27		HBD-DAI7V			平成27年 7月 (リース)
	小竹連絡車	平27		HBD-DAI7V			平成27年 7月 (リース)
	若宮連絡車	平27		HBD-DAI7V			平成27年 7月 (リース)

### 3. 水利現況調べ

水利別 市·町別	小計	貯水槽	消火栓	河川・溝	池・泉水・プール
宮若市	764	210	423	98	33
鞍手町	435	163	239	15	18
小竹町	246	102	133	5	6
合 計	1, 445	475	795	118	57

# 4. 救急講習受講者数調べ(簡易救命講習含む)

市・町別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
宮若市	0	11	0	0	74	22	0	23	176	123	16	9	454
鞍手町	0	0	0	18	45	50	10	22	17	0	0	25	187
小竹町	0	0	0	17	0	24	22	112	22	0	14	23	234
一般公募	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	23
合計	0	11	0	35	119	96	32	180	215	123	30	57	898

六 火 災 編

### 1. 火災概要

#### (1) 火災発生件数

令和5年中における火災発生件数は24件であり、前年と比較すると3件増加となっている。

火災種別ごとに分類すると、建物火災 15件、車両火災が7件、その他火災が2件となっており、林野火災は0件である。

罹災世帯数は19世帯、罹災人員は41名となっている。前年と比較すると、罹災世帯数は9世帯増加し、罹災人員は26名増加している。

#### (2) 死傷者数

火災による死傷者数は、死者は1名、負傷者は7名となっており、 前年と比較すると、死者は1名増加し、負傷者は7名増加している。

#### (3) 建物焼損面積

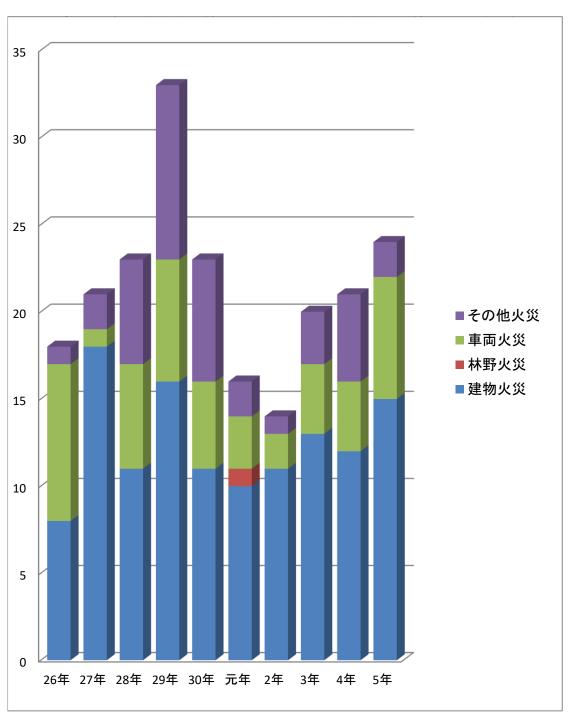
建物焼損面積は1,158㎡であり、前年の1,009㎡より 149㎡増加している。

#### (4) 火災損害額

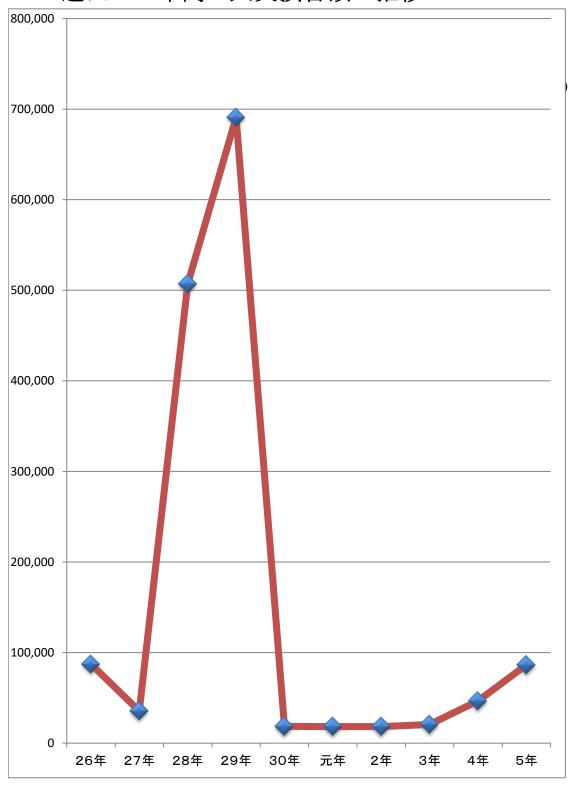
火災損害額は86,340千円であり、前年の46,554千円より39,786千円増加している。

# 2. 過去10年間の火災件数の推移

大災種別 大災種別	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	元 年	2 年	3 年	4 年	5 年
建物火災	8	18	11	16	11	10	11	13	12	15
林野火災	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
車両火災	9	1	6	7	5	3	2	4	4	7
その他火災	1	2	6	10	7	2	1	3	5	2
合 計	18	21	23	33	23	16	14	20	21	24

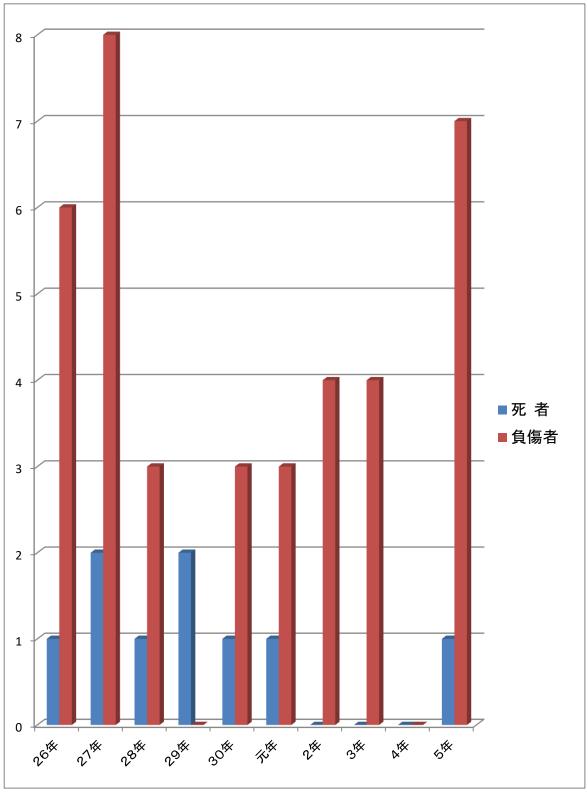


# 3. 過去10年間の火災損害額の推移



											(千円)
	/	26年	27年	28年	29年	30年	元 年	2 年	3 年	4 年	5 年
少	、災 損 害 額	87, 311	35, 444	507, 319	690, 935	18, 559	18, 256	18, 256	20, 551	46, 554	86, 340

# 4. 過去10年間の火災による死傷者数の推移



											(名)
		26年	27年	28年	29年	30年	元 年	2 年	3 年	4 年	5 年
死	者	1	2	1	2	1	1	0	0	0	1
負	傷者	6	8	3	0	3	3	4	4	0	7

# 5. 火災概況

	区	分	単位	令和5年[A]	令和 4 年 [B]	増 減 [A]-[B]
出	3	建物	件	15	12	3
火	7	林 野	件	0	0	0
	]	車 両	件	7	4	3
件	そ	の他	件	2	5	△ 3
数		計	件	24	21	3
死	Ž	死 者	人	1	0	1
傷	負	傷者	人	7	0	7
者		計	人	8	0	8
建	物 虏	连損 面 稅	責 m²	床面積     表面積       1,158     73	床面積 表面積 1,009 183	床面積 表面積 149 △ 110
林	野怪	连損 面 租	i a	0	0	0
		全 焼	棟	15	8	7
焼		<u>- 流</u> 半 焼	棟	1	4	$\triangle$ 3
損			棟	10	5	5
棟		ぼ や	棟	5	5	0
数		<del></del>	棟	31	22	9
罹		<del></del> 全 損	世帯	10	5	5
災		 半 損	世帯	1	0	1
世		 小  損	世帯	8	5	3
帯		<del></del>	世帯	19	10	
罹	災	人員	人	41	15	26
	3	建物	千円	83, 132	41, 985	41, 147
損	7	林 野	千円	0	0	0
害		車 両	千円	1, 583	1,827	△ 244
額	そ	の他	千円	1, 625	2, 742	△ 1,117
11只		計	千円	86, 340	46, 554	39, 786
1	建	損害	須 千円	5, 542	3, 499	2, 043
件	物	焼損面和	漬 m²	77. 2	84. 1	△ 6.9
当た	火	罹災世界	节世帯	1.3	0.8	0.5
り	災	罹災人」	人	2.7	1. 2	1.5

# 6. 月別火災件数及び損害額

<b>人</b> 区分		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
出	建	物	0	0	3	0	0	1	3	1	3	2	1	1	15
	林	野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火	車	両	0	1	0	1	0	3	0	1	1	0	0	0	7
件	その	り他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
数	月	計	0	1	3	1	1	4	3	2	4	3	1	1	24
焼	全	焼	0	0	1	0	0	1	2	0	6	4	1	0	15
損	半	焼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	部分	分焼	0	0	3	0	0	2	1	0	1	1	2	0	10
棟	ぼ	Þ	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	5
数	月	計	0	0	4	0	0	4	4	1	8	6	3	1	31
焼	表面	百積	0	0	5	0	0	56	0	0	1	6	5	0	73
損面	建物	( m²)	0	0	33	0	0	99	311	0	522	58	135	0	1, 158
積	林野	₹ (a)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
罹	全	損	0	0	1	0	0	1	1	0	4	2	1	0	10
災	半	損	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
世	小	損	0	0	1	0	0	2	0	1	2	0	2	0	8
帯	月	計	0	0	2	0	0	3	2	1	6	2	3	0	19
罹災	炎人」	員数	0	0	5	0	0	6	8	2	9	4	7	0	41
死	死	者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
傷	負債	傷者	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	2	0	7
者	月	計	0	0	0	0	0	3	0	0	2	1	2	0	8
損害	建	物	0	0	15, 259	0	0	18, 008	27, 061	5	13, 527	2, 896	4, 848	1, 528	83, 132
音額	林	野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
( H	車	両	0	423	0	570	0	120	0	370	100	0	0	0	1, 583
千円	その	り他	0	0	82	1, 395	0	148	0	0	0	0	0	0	1,625
)	月	計	0	423	15, 341	1, 965	0	18, 276	27, 061	375	13, 627	2, 896	4, 848	1, 528	86, 340

# 6-1. 宮若市の月別火災件数及び損害額

	月	別		- 11	- 11			- 11	- 11		- 11	HX.			۸ ٦١
区分		1月	1	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
出	建物	IJ.	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
火	林里	ŕ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
件	車両	ĵ	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	5
	その作	也	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
数	月青	ŀ	0	1	1	1	1	2	0	1	2	1	0	1	11
焼	全度	Ê	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
損	半ヶ	É	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	部分	尭	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
棟	ぼ々	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	4
数	月音	ŀ	0	0	1	0	0	1	0	1	3	0	0	1	7
焼	表面表	漬	0	0	2	0	0	4	0	0	1	0	0	0	7
損面	建物(r	n²)	0	0	0	0	0	0	0	0	271	0	0	0	271
積	林野(	a)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
罹	全 扫	損	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
災	半 扫	損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世	小	損	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
帯	月言	計	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	6
罹分	災人員:	数	0	0	0	0	0	0	0	2	8	0	0	0	10
死	死	首	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
傷	負傷	者	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	4
者	月言	計	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	4
損	建生	勿	0	0	90	0	0	101	0	5	7, 516	0	0	1, 528	9, 240
害額	林	野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
$\overline{}$	車「	町	0	423	0	570	0	0	0	0	100	0	0	0	1, 093
千円	その1	也	0	0	0	1, 395	0	143	0	0	0	0	0	0	1, 538
□)	月言	計	0	423	90	1, 965	0	244	0	5	7, 616	0	0	1, 528	11, 871

# 6-2. 鞍手町の月別火災件数及び損害額

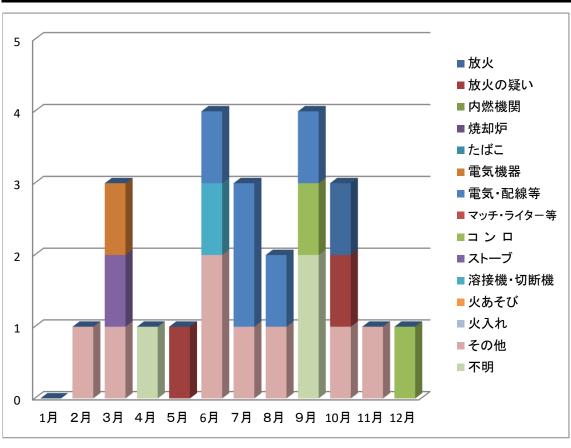
$\overline{}$	月別		- 11	- 11		- 11	- 11	_ 11	- 11	× 11	HX.		11	Λ -11
区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
出	建物	0	0	1	0	0	1	3	0	2	0	0	0	7
火	林 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
件	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
数	月計	0	0	1	0	0	2	3	1	2	0	0	0	9
焼	全 焼	0	0	1	0	0	1	2	0	4	0	0	0	8
損	半 焼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	部分焼	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	5
棟	ぼや	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
数	月計	0	0	2	0	0	3	4	0	5	0	0	0	14
焼	表面積	0	0	3	0	0	52	0	0	0	0	0	0	55
損面	建物(m²)	0	0	21	0	0	99	311	0	251	0	0	0	682
積	林野 (a)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
罹	全 損	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	4
災	半損	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
世	小 損	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
帯	月計	0	0	2	0	0	3	2	0	1	0	0	0	8
罹災	災人員数	0	0	2	0	0	6	8	0	1	0	0	0	17
死	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
傷	負傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
者	月 計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
損	建物	0	0	5, 093	0	0	17, 907	27, 061	0	6, 011	0	0	0	56, 072
害額	林 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	0	0	0	0	0	120	0	370	0	0	0	0	490
千円	その他	0	0	82	0	0	5	0	0	0	0	0	0	87
1)	月計	0	0	5, 175	0	0	18, 032	27, 061	370	6, 011	0	0	0	56, 649

# 6-3. 小竹町の月別火災件数及び損害額

$\overline{}$	月別		0.0	0 🗆	4 🗆	- 0	сП	7 0	0.0	0.0	10 🗆	11 🗆	10 🗆	A ⇒1
区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
出	建物	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4
火	林 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
件	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
数	月計	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	5
焼	全 焼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	5
損	半 焼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	部分燒	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4
棟	ぼや	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
数	月計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	3	0	10
焼	表面積	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	0	11
損面	建物(㎡)	0	0	12	0	0	0	0	0	0	58	135	0	205
積	林野 (a)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
罹	全 損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
災	半損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世	小 損	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
帯	月計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0	6
罹災	災人員数	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4	7	0	14
死	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
傷	負傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
者	月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
損	建物	0	0	10, 076	0	0	0	0	0	0	2, 896	4, 848	0	17, 820
害額	林 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千円	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月計	0	0	10, 076	0	0	0	0	0	0	2, 896	4, 848	0	17, 820

## 7. 原因別 · 月別火災件数

原因別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
放 火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
放火の疑い	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
内 燃 機 関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼 却 炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たばこ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
電気・配線等	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	5
マッチ・ライター等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンロ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
ストーブ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
溶接機·切断機	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
火あそび	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	8
不明	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
合 計	0	1	3	1	1	4	3	2	4	3	1	1	24



## 8. 時間別(火災種別)火災件数

区分	少	<b>5</b>	£ 1	牛	数	焼 損	面積	死	傷	者	損害額
時間	建物	林野	車両	その他	合 計	建物 (m²)	林野 (a)	死者	傷者	合計	(千円)
0 ~ 1	1	0	0	0	1	247	0	0	0	0	5, 179
1 ~ 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 ~ 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
$3 \sim 4$	1	0	0	0	1	306	0	0	0	0	25, 757
$4 \sim 5$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
$5 \sim 6$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 ~ 7	1	0	0	0	1	52	0	1	0	1	2, 594
7 ~ 8	1	0	0	0	1	12	0	0	0	0	10, 076
8 ~ 9	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	524
9 ~ 10	2	0	0	1	3	275	0	0	2	2	8, 014
$10 \sim 11$	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
11 ~ 12	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
$12 \sim 13$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
$13 \sim 14$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
$14 \sim 15$	2	0	2	0	4	120	0	0	0	0	25, 417
$15 \sim 16$	1	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1, 298
$16 \sim 17$	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	125
$17 \sim 18$	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
18 ~ 19	3	0	1	0	4	6	0	0	3	3	2,079
$19 \sim 20$	1	0	1	0	2	135	0	0	2	2	5, 271
$20 \sim 21$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 ~ 22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 ~ 23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
$23 \sim 24$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	15	0	7	2	24	1, 158	0	1	7	8	86, 340

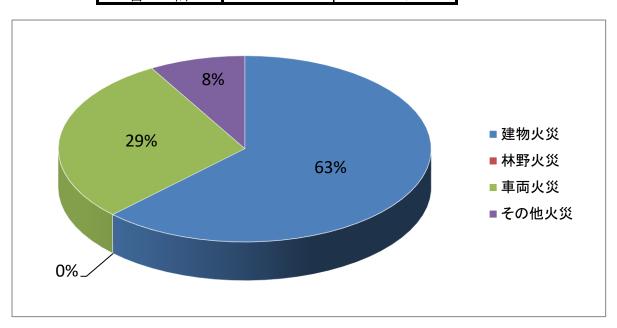
## 9. 気象別月別火災件数

$\overline{}$	月別					<i>&gt;</i> >\								
気象		1月	2月	3月	4月	5月	6 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
,,	快晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天	晴	0	1	3	1	1	1	1	1	4	2	1	0	16
人	曇	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	4
候	雨	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	4
医	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	霧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30 % 未満	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
湿	30%以上	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	4
خلا	45%以上	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
度	55 %以上	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	4
1X	65 %以上	0	1	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	6
%	75%以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
/0	85 %以上	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	5
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南西	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	西	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
風	北 西	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	5
	北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北東	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
向	東	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	0	5
	南東	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	6
	無風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1未満	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	
風	$1 \sim 2$	0	1	2	0	0	1	2	1	2	0	0	0	9
川川	$2 \sim 3$	0	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	1	7
\ <del>+</del>	$3 \sim 4$	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
速	$4 \sim 5$	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5 ~ 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
m	$6 \sim 7$	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
S	7 ~ 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 10. 火災種別発生件数

	火災件数	%
建物火災	15	63%
林野火災	0	0%
車両火災	7	29%
その他火災	2	8%
合 計	24	100%

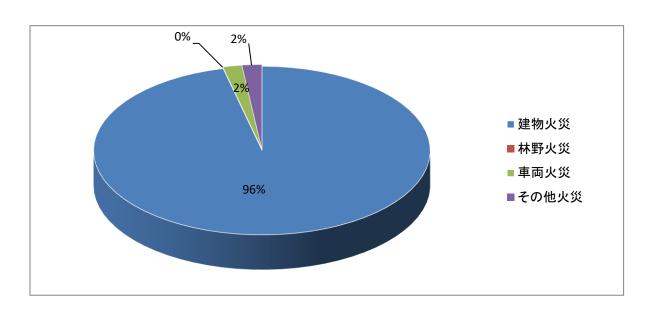
(単位:件)



### 11. 火災種別損害額

	損害額	%
建物火災	83, 132	96%
林野火災	0	0%
車両火災	1, 583	2%
その他火災	1,625	2%
合 計	86, 340	100%

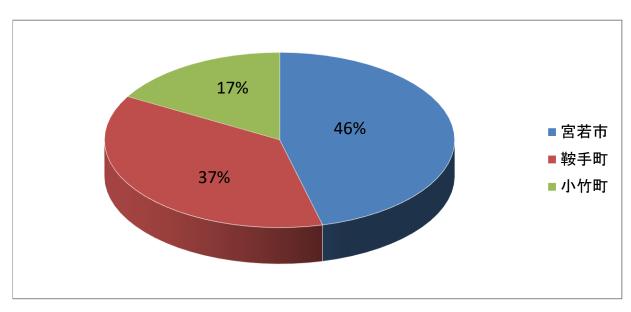
(単位:千円)



## 12. 市・町別火災件数

	火災件数	%
宮 若 市	11	46%
鞍 手 町	9	37%
小 竹 町	4	17%
合 計	24	100%

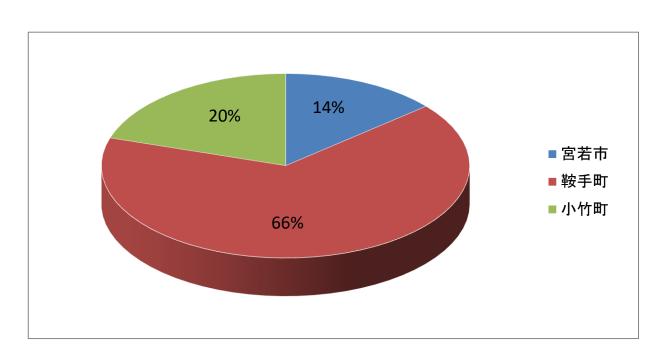
(単位:件)



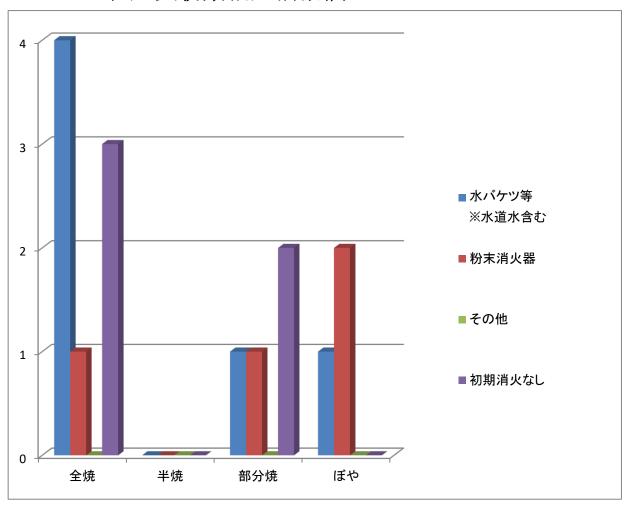
## 13. 市•町別火災損害額

	損 害 額	%
宮 若 市	11,871	14%
鞍 手 町	56, 649	66%
小 竹 町	17,820	20%
合 計	86, 340	100%

(単位:千円)



#### 14. 建物火災初期消火活動調べ



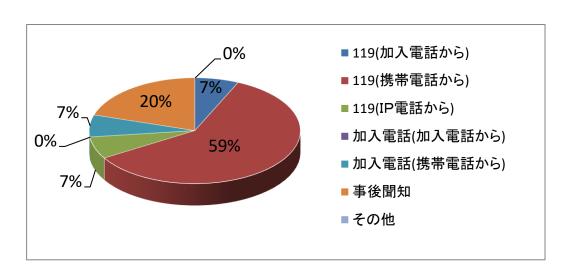
	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼや	合 計
水 バ ケ ツ 等 ※ 水 道 水 含 む	4	0	1	1	6
粉末消火器	1	0	1	2	4
その他	0	0	0	0	0
初期消火なし	3	0	2	0	5
合 計	8	0	4	3	15

建物火災件数15件(爆発火災除く)の内、初期消火が実施されたのは10件で、ぼや火災にとどまったのはその内の3件である。これに対し、初期消火が実施されなかった建物火災の5件は、全焼3件、半焼0件、部分焼2件、ぼや0件となっている。

### 15. 覚知別建物火災件数

	火災件数	%
119(加入電話から)	1	7%
119(携帯電話から)	9	59%
119( I P 電話から)	1	7%
加入電話(加入電話から)	0	0%
加入電話(携帯電話から)	1	7%
事後聞知	3	20%
その他	0	0%
合計	15	100%

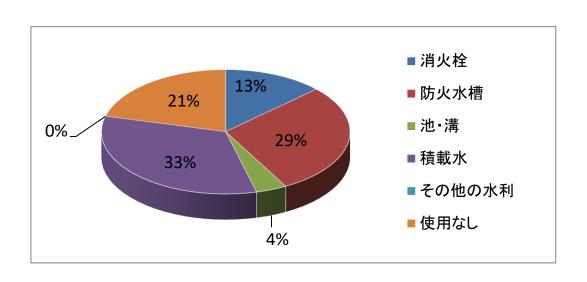
(単位:件)



### 16. 主として使用した水利調べ

	火災件数	%
消火栓	3	13%
防火水槽	7	29%
池 • 溝	1	4%
積 載 水	8	33%
その他の水利	0	0%
使用なし	5	21%
合 計	24	100%

(単位:件)



# 17. 月別出動人員及び出動車両(放水車両)

区分	火災	出	Ē	動	人	員	出	動		車	両	放水
月別	件数	建物	林野	車両	その他	合 計	建物	林野	車両	その他	合 計	車両
1 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 月	1	0	0	12	0	12	0	0	4	0	4	2
3 月	3	40	0	0	0	40	11	0	0	0	11	5
4 月	1	0	0	15	0	15	0	0	5	0	5	3
5 月	1	0	0	0	12	12	0	0	0	4	4	1
6 月	4	19	0	44	0	63	5	0	15	0	20	5
7 月	3	49	0	0	0	49	15	0	0	0	15	3
8 月	2	12	0	13	0	25	4	0	4	0	8	3
9 月	4	36	0	14	0	50	11	0	4	0	15	6
10 月	3	30	0	0	4	34	9	0	0	1	10	4
11 月	1	20	0	0	0	20	5	0	0	0	5	1
12 月	1	3	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0
合 計	24	209	0	98	16	323	61	0	32	5	98	33
宮若市	11	37	0	71	16	124	11	0	23	5	39	15
鞍手町	9	103	0	27	0	130	31	0	9	0	40	11
小竹町	4	69	0	0	0	69	19	0	0	0	19	7

七 救急•救助編

#### 1. 救急概要

#### (1) 救急出動件数

令和5年中における救急出動件数は3,297件であり、前年に比べて219件の増加となっている。

種別ごとに分類すると、急病が2,145件(前年比153件増加) 一般負傷が474件(前年比30件増加)、転院搬送が344件(前年比12件増加)、交通事故が191件(前年比25件増加)、火災が42件(前年比3件減少)、労働災害が37件(前年比2件減少)、自損行為が29件(前年比増減なし)、運動競技が17件(前年比増減なし)、加害が10件(前年比3件増加)、その他が4件(前年比2件減少)、水難が4件(前年比3件増加)、自然災害が0件(前年比比増減なし)となっている。

#### (2) 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送状況は、軽症が820件(前年比46件増加)中等症が1,999件(前年比212件増加)、重症が152件(前年比4件増加)、死亡が56件(前年比8件増加)となっている。

#### (3) 年齡別搬送状況

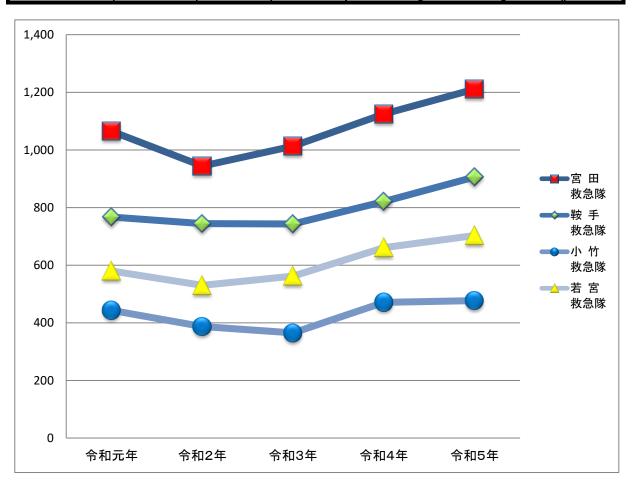
年齢別搬送人員では、高齢者(65歳以上)が2,118件(前年比186件増加)、成人(18歳以上~65歳未満)が683件(前年比17件増加)、少年(7歳以上~18歳未満)が106件(前年比37件増加)、乳幼児(生後29日以上~7歳未満)が119件(前年比30件増加)、新生児(28日以内)が1件(前年比増減なし)となっている。

## 2. 最近5か年の救急概要

	区	分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
救	急	出場件数	2, 855	2,605	2, 683	3, 078	3, 297
挽	n i	生件数	2, 636	2, 402	2, 487		
不	搬	送件数	219	203	196	335	297
挽	r i	送 人 員	2, 655	2, 412	2, 506	2, 757	3, 027
1 日	当た	りの出場件数	8	7	7	8	9
1 か	月当	たりの出場件数	238	217	224	257	275
		火 災	30	42	22	45	42
出	自	然災害	0	0	0	0	0
		水難	2	4	1	1	4
場	交	通事故	188	124	173	166	191
	労	働災害	26	41	25	39	37
件	運	動競技	11	16	8	17	17
		般負傷	440	395	425	444	474
数	,	加害	11	7	13	7	10
刻	自	損行為	16	23	26	29	29
<del>                                      </del>		急病	1,842	1,650	1,680	1, 992	2, 145
内	そ	転院搬送	282	300	303	332	344
<del>∴</del> ⊢	0	医師搬送	0	0	0	0	0
訳		資機材等	0	0	0	0	0
	他	その他	7	3	7	6	4
搬		死亡	38	46	62	48	56
送		重症	167	158	148	148	152
人	4	等症	1, 577	1, 523	1, 594	1, 787	1, 999
員		軽症	872	685	702	774	820

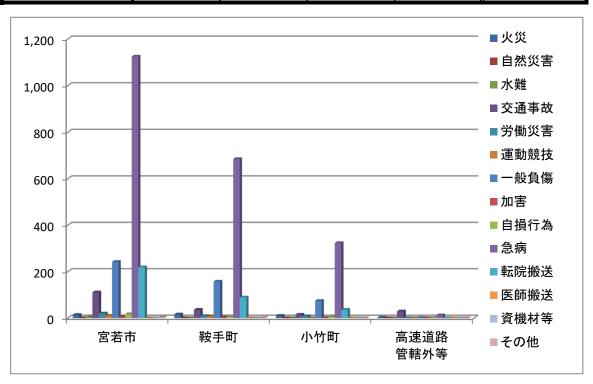
## 3. 最近5か年の救急隊別救急出動件数調べ

救急隊別 年別	宮 田 救急隊	**		若 宮 救急隊	合 計	高速	管外
令和元年	1, 065	767	443	580	2, 855	41	0
令和2年	944	744	387	530	2, 605	41	0
令和3年	1, 013	743	365	562	2, 683	30	2
令和4年	1, 125	821	471	661	3, 078	33	0
令和5年	1, 211	906	477	703	3, 297	44	1



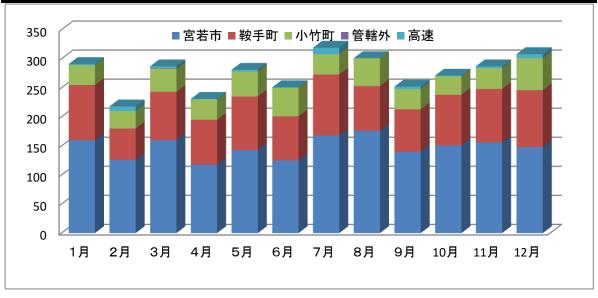
## 4. 出動先別(市・町別)救急出動件数調べ

事故	市・町名 種別等	宮若市	鞍手町	小竹町	高速道路管轄外等	合 計
	火 災	14	16	10	2	42
自	然災害	0	0	0	0	0
	水 難	4	0	0	0	4
交	通事故	111	36	15	29	191
労	働災害	20	9	8	0	37
運	動競技	10	7	0	0	17
	般負傷	242	157	74	1	474
	加害	6	3	1	0	10
自	損行為	17	6	5	1	29
	急病	1, 125	685	323	12	2, 145
そ	転院搬送	219	89	36	0	344
$\mathcal{O}$	医師搬送	0	0	0	0	0
	資機材等	0	0	0	0	0
他	その他	3	1	0	0	4
<u></u>	計	1, 771	1,009	472	45	3, 297



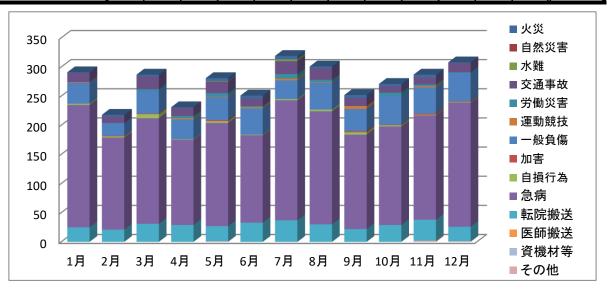
## 5. 出動先別(市・町別)月別救急出動件数調べ

月別	・町名	宮若市	鞍手町	小竹町	管轄外	高 速	合 計
1	月	160	95	34	0	2	291
2	月	126	54	30	0	8	218
3	月	160	83	40	1	3	287
4	月	118	77	35	0	1	231
5	月	143	92	43	0	3	281
6	月	125	76	49	0	1	251
7	月	168	105	35	0	11	319
8	月	176	77	48	0	0	301
9	月	140	73	35	0	4	252
10	月	151	87	32	0	1	271
11	月	156	92	36	0	3	287
12	月	148	98	55	0	7	308
合	計	1,771	1,009	472	1	44	3, 297



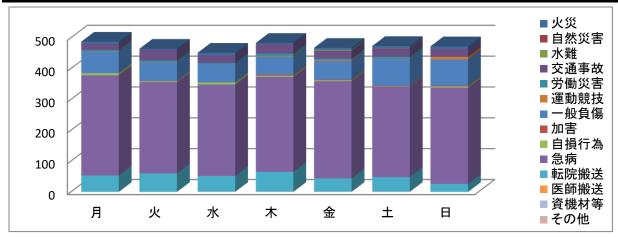
## 6. 月別救急出動件数調べ

事故	月別 種別等	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2	火 災	1	3	3	1	5	5	6	3	5	4	5	1	42
自	然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ス	火 難	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	4
交	通事故	16	11	22	14	20	13	22	20	14	11	12	16	191
労	働災害	0	0	3	4	6	2	8	4	0	6	3	1	37
運	動競技	1	0	0	2	1	2	3	1	5	0	2	0	17
	般負傷	36	22	39	34	39	45	32	46	38	49	45	49	474
力	加 害	0	1	1	0	2	0	0	0	2	1	2	1	10
自	損行為	2	2	7	1	3	1	2	3	4	2	1	1	29
Á	急病	210	158	181	146	177	150	206	194	162	169	179	213	2, 145
そ	転院搬送	25	21	31	29	26	33	37	30	22	29	36	25	344
。 の	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資機材等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他	その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	4
	計	291	218	287	231	281	251	319	301	252	271	287	308	3, 297



## 7. 曜日別救急出動件数調べ

事故	曜日 種別等	月	火	水	木	金	土	目	合 計
	火 災	7	3	8	4	6	6	8	42
自	然災害	0	0	0	0	0	0	0	0
7.	火 難	0	0	0	0	3	1	0	4
交	通事故	20	35	25	31	26	28	26	191
労	働災害	5	6	5	9	5	7	0	37
運	動競技	1	1	0	2	3	1	9	17
<u> </u>	般負傷	69	59	58	57	60	86	85	474
ナ	加 害	0	1	0	3	2	2	2	10
自	損行為	7	3	7	4	3	1	4	29
Á	急病	325	296	296	308	315	293	312	2, 145
そ	転院搬送	53	60	51	64	43	47	26	344
。   の	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0
	資機材等	0	0	0	0	0	0	0	0
他	その他	0	0	1	1	1	1	0	4
合	<u></u>	487	464	451	483	467	473	472	3, 297



## 8. 時間別救急出動件数調べ

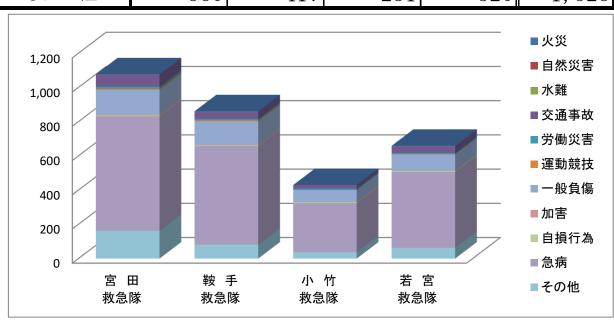
	時間区分	0	0	4	C	0	1.0	10	1.4	1.0	1.0	0.0	0.0	
		$0 \sim 2$	2 ~ 4	$4 \sim 6$	6 ~ 8	8 ~ 10	10 ~ 12	12 ~ 14	14 ~ 16	16 ~ 18	18 ~ 20	20 ~ 22	$\begin{array}{c} 22 \\ \sim \\ 24 \end{array}$	合 計
事改	女種別等	۷	4	O	0	10	12	14	10	10	20	22	24	
;	火 災	1	1	0	2	5	3	3	9	6	11	1	0	42
自	然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	水 難	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	4
交	通事故	2	5	6	10	15	23	20	36	29	23	14	8	191
労	働災害	1	0	1	0	5	11	7	6	3	1	1	1	37
運	動競技	0	0	0	0	1	6	2	5	0	2	1	0	17
_	般負傷	15	9	14	30	71	77	55	45	56	44	33	25	474
į	加害	1	0	0	0	1	0	1	2	2	0	2	1	10
自	損行為	2	1	0	2	0	2	1	3	4	10	4	0	29
7	急病	99	98	88	178	264	224	240	213	199	218	194	130	2, 145
そ	転院搬送	3	1	3	3	46	83	79	46	49	20	8	3	344
	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	資機材等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他	その他	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
ĺ	合 計	124	116	112	225	410	429	411	366	348	329	259	168	3, 297

## 9. 覚知別救急出動件数調べ

	覚知別		119		to tabet	数如序孔	E位 仁い圣 和	7 0 114	<b>△</b> ∋i
事故	種別等	(IP)	(携)	(加)	加入電話	<b>警</b> 祭電話	駆付通報	その他	合 計
ý	火 災	1	4	32	1	0	0	4	42
自	然 災 害	0	0	0	0	0	0	0	0
ス	大 難	0	0	0	1	3	0	0	4
交	通事故	3	4	164	8	3	0	9	191
労	働災害	10	3	24	0	0	0	0	37
運	動 競 技	0	0	17	0	0	0	0	17
	般負傷	82	92	290	6	2	2	0	474
力	加 害	1	0	9	0	0	0	0	10
自	損 行 為	4	1	22	1	1	0	0	29
2	急病	510	356	1, 235	27	4	12	1	2, 145
そ	転院搬送	161	165	16	2	0	0	0	344
。     の	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0
	資機材等	0	0	0	0	0	0	0	0
他	その他	1	1	2	0	0	0	0	4
<u>/</u>	計	773	626	1,811	46	13	14	14	3, 297

## 10. 救急隊別搬送人員調べ

救急隊別	宮 田教急隊	鞍 手救急隊	小 竹 救 急 隊	若 宮 救 急 隊	合 計
事故種別等					7
火災	2	3	0	2	1
自然災害	0	0	0	0	0
水 難	1	1	0	1	3
交通事故	69	41	21	39	170
労 働 災 害	13	8	8	7	36
運動競技	7	6	0	2	15
一般負傷	144	137	71	96	448
加害	4	3	1	0	8
自損行為	5	4	5	6	20
急病	669	577	287	443	1, 976
その他	163	81	37	63	344
合 計	1,077	861	430	659	3,027
死 亡	16	20	9	11	56
重症	54	38	21	39	152
中 等 症	713	582	300	404	1, 999
軽症	294	221	100	205	820
男 性	517	444	199	339	1, 499
女性	560	417	231	320	1,528

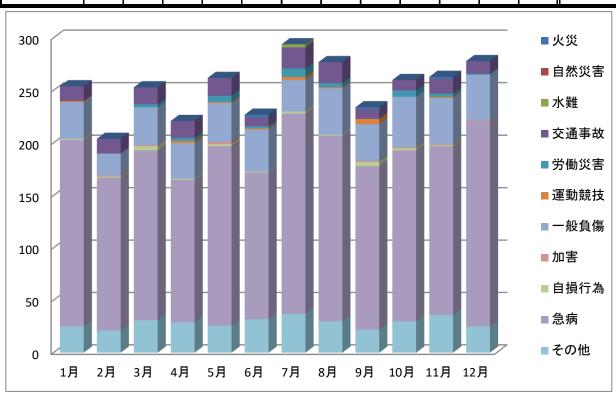


## 11. 救急隊別不搬送件数調べ

事故和	救急隊別 救急隊別 重別等	宮 田 救急隊	鞍 手救急隊	小 竹救急隊		合 計
	火 災	32	1	3	0	36
自	然災害	0	0	0	0	0
	水 難	0	0	0	0	0
交	通事故	16	5	5	13	39
労	働 災 害	0	1	0	0	1
運	動競技	1	0	0	1	2
	般負傷	12	4	7	5	28
	加害	2	0	0	0	2
自	損 行 為	5	2	0	3	10
	急病	70	42	36	26	174
そ	転院搬送	1	0	0	0	1
<ul><li>の</li></ul>	医師搬送	0	0	0	0	0
	資機材等	0	0	0	0	0
他	その他	2	1	0	1	4
	合 計	141	56	51	49	297

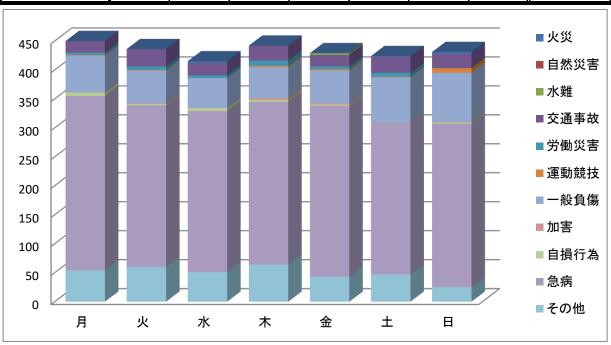
## 12. 月別搬送人員調べ

月別 事故種別等	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	2	0	7
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
交通事故	14	14	16	16	17	8	20	20	9	10	14	12	170
労働災害	0	0	3	3	6	2	8	4	0	6	3	1	36
運動競技	1	0	0	2	1	1	3	1	5	0	1	0	15
一般負傷	35	21	36	34	37	40	30	44	35	48	44	44	448
加害	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	1	1	8
自損行為	1	1	4	1	2	1	2	1	4	2	1	0	20
急病	178	146	162	136	171	140	191	177	156	163	161	195	1, 976
その他	25	21	31	29	26	32	37	30	22	30	36	25	344
合 計	254	204	253	221	262	227	294	277	234	260	263	278	3, 027



## 13. 曜日別搬送人員調べ

曜日 事故種別等	月	火	水	木	金	土	日	合 計
火 災	0	0	3	0	0	1	3	7
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	0	0	0	0	3	0	0	3
交通事故	20	30	21	26	20	28	25	170
労働災害	4	6	5	9	5	7	0	36
運動競技	1	1	0	2	2	1	8	15
一般負傷	64	57	52	54	57	79	85	448
加害	0	1	0	3	2	1	1	8
自損行為	6	2	5	3	2	0	2	20
急病	301	279	278	281	295	260	282	1, 976
その他	54	60	51	64	43	47	25	344
合 計	450	436	415	442	429	424	431	3, 027



## 14. 傷病程度別男女別搬送人員調べ

傷疖	<b></b> 持程度	死	亡	重	症	中	等 症	軽	症	合	計
事故種別	等	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
火	災	0	0	0	0	3	1	3	0	6	1
自然災	害》	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水剪	難	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
交通事	事故	0	0	6	0	45	46	42	31	93	77
労働災	《害	0	0	1	0	24	6	4	1	29	7
運動意	竞技	0	0	0	0	6	0	9	0	15	0
一般負	負傷	1	2	14	13	106	180	64	68	185	263
加生	害	0	0	0	0	2	0	4	2	6	2
自損行	亍為	1	1	0	1	6	10	0	1	7	13
急	病	21	28	43	44	628	630	295	287	987	989
その	他	0	1	15	13	151	155	5	4	171	173
男女合	別計	23	33	79	73	971	1, 028	426	394	1, 499	1, 528
合言	計		56		152	1	, 999		820	(	3, 027

## 15. 事故種別年齢区分別搬送人員調べ

年齢区分事故種別等	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
火災	0	0	0	5	2	7
自然災害	0	0	0	0	0	0
水 難	0	0	3	0	0	3
交通事故	0	2	24	93	51	170
労働災害	0	0	0	25	11	36
運動競技	0	0	12	3	0	15
一般負傷	0	14	9	50	375	448
加害	0	0	2	2	4	8
自損行為	0	0	0	14	6	20
急病	1	103	54	434	1, 384	1, 976
その他	0	0	2	57	285	344
合 計	1	119	106	683	2, 118	3, 027

# 16. 管内・管外別搬送人員調べ

	搬送先	管		内		管 外					
事故種別	別等	宮若市	鞍手町	小竹町	福岡市	北九州市	飯塚市	直方市	その他	合計	
火	災	0	0	0	0	4	2	0	1	7	
自然	災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水	難	0	0	0	0	1	1	0	1	3	
交通	事故	41	17	0	0	23	22	26	41	170	
労働	災害	10	1	0	0	8	5	5	7	36	
運動	競技	1	1	0	0	4	3	5	1	15	
一般	負傷	109	118	2	1	26	34	85	73	448	
加	害	2	2	0	0	1	0	2	1	8	
自損	行為	2	3	0	0	1	10	1	3	20	
急	病	427	380	59	10	148	404	192	356	1, 976	
その	つ他	10	9	2	2	59	164	25	73	344	
合	計	602	531	63	13	275	645	341	557	3, 027	
死	亡	16	14	2	0	1	11	3	9	56	
重	症	21	21	0	1	13	46	18	32	152	
中等	争 症	339	363	35	12	187	501	213	349	1, 999	
軽	症	226	133	26	0	74	87	107	167	820	
男	性	275	250	26	9	172	340	143	284	1, 499	
女	性	327	281	37	4	103	305	198	273	1, 528	

#### 17. 救急隊の行った救急処置件数調べ

	事故種別等					
N. A. In H		急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計
救急処置		1, 966	170	457	434	2 027
止		1, 900	170	39	434 7	3, 027 61
固		26	125	107	23	281
人工		$\frac{20}{4}$	123	0	0	201
胸骨		0	0	0	0	0
716) [7]	うち自動	0	0	0	0	0
心肺		66	1	7	6	80
, LL ////	うち自動	52	1 1	6	3	62
酸素	7 7 77	409	12	25	112	558
気道		85	1	10	10	106
/\(\ \Z	気道確保1	1	0	0	0	100
	気道確保2	0	0	0	0	0
<b>※</b> 1	気道確保3	39	1	6	3	49
	気道確保4	0	0	0	0	0
保	温	2	0	3	1	6
被		5	19	80	19	123
	療法継続	13	0	2	1	16
	А	2	0	0	0	2
<b>※</b> 2	В	1	0	0	0	1
	С	10	0	2	1	13
ショックハ゜ンツに	こよる血圧保持	0	0	0	0	0
除	細 動	7	0	0	0	7
静脈路码	准保(輸液)	25	4	4	0	33
	CPA後	18	1	3	0	22
血糖	ア 測 定	14	0	0	0	14
ブドウ	り糖投与	5	0	0	0	5
薬剤	力 投 与	16	1	2	0	19
その他の	の応急処置	1,903	168	448	427	2, 946
血圧	測定	1,853	164	435	427	2,879
聴診器は	こよる聴取	1, 422	103	171	254	1, 950
血中酸素的	飽和度の測定	1,905	168	447	427	2, 947
心	電 図	1,775	113	336	381	2,605
合	計	9, 543	886	2, 116	2,095	14, 640
	<u> </u>	1 経鼻エアウェ	/ <del>                                     </del>			-

気道確保1とは、経鼻エアウェイ使用。 気道確保2とは、喉頭鏡・カンシによる異物除去。 気道確保3とは、救急救命士法に基づき、ラリンゲアルマスク等を用いての気道確保。 気道確保4とは、気管挿管。 在宅療法Aとは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法により点滴処置が施されているもの。 在宅療法Bとは、気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの。 在宅療法Cとは、A、B以外のもの。

#### 18. 高速道路救急出動件数及び搬送人員の傷病程度別調べ

	区 分	上り線	下り線	パーキング エ リ ア	その他	合 計
		若宮~八幡	鞍手~古賀	- y /		
救急	急出場件数	13	21	8	2	44
事	交通事故	13	15	0	0	28
故	急病	0	4	6	2	12
別	その他	0	2	2	0	4
搬	送人員	13	14	7	2	36
搬	交通事故	13	10	0	0	23
送	急病	0	4	6	2	12
別	その他	0	0	1	0	1
傷	死 亡	0	0	0	0	0
病	重症	1	1	1	0	3
程	中等症	11	4	2	0	17
度	軽症	1	9	4	2	16
別	<b>=</b>	13	14	7	2	36
性	男 性	6	10	5	0	21
別	女 性	7	4	2	2	15
不	搬送	3	4	1	0	8

#### 19. 救助概要

#### (1) 救助出動件数

令和5年中における救助出動件数は43件(活動有り20件:活動なし23件)であり、前年に比べて19件の増加となっている。

種別ごとに分類すると、交通事故が25件(前年比8件増加)、その他が14件(前年比8件増加)、水難事故が3件(前年比2件増加)、自然災害が0件(前年比増減なし)、機械事故が1件(前年比1件増加)、火災が0件(前年比増減なし)となっている。

#### (2) 救助出動に伴う人員及び車両

令和5年中における救助出動に伴う出動人員は、救助隊員が133名 (前年比52名増加)、消防隊員が132名(前年比58名増加)、救急 隊員が169名(前年比82名増加)となっている。

救助出動に伴う車両の出動回数は、救助工作車が42回(前年比18回増加)、タンク車が36回(前年比16回増加)、救急車が54回(前年 年比26回増加)、その他車両が12回(前年比10回増加)となっている。

救助出動に伴う救出人員は、交通事故が10名(前年比1名減少)、その他が11名(前年比7名増加)、水難事故4名(前年比3名増加)、火災0名(前年比増減なし)、自然災害0名(前年比増減なし)、機械事故0名(前年比増減なし)となっている。

# 20. 救助出動総括表

	事故種別等					占			
	争以怪別等	r	交	水	機	自然災	そ	_	高速
		火	通	難	械	害・	Ø	合	道路
		災	事	事	事	風 水		計	内の
区分			故	故	故	害等	他		災 害
救助	力出動件数	0	25	3	1	0	14	43	4
救助	力活動件数	0	9	2	0	0	9	20	0
救助	非活動件数	0	16	1	1	0	5	23	4
出	消防隊員	0	69	20	3	0	40	132	14
動	救助隊員	0	77	11	3	0	42	133	13
人	救急隊員	0	104	17	3	0	45	169	22
員	合 計	0	250	48	9	0	127	434	49
出	救助工作車	0	25	3	1	0	13	42	4
動	救 急 車	0	34	15	1	0	14	54	7
	タンク車	0	21	3	1	0	11	36	4
車	その他車両	0	2	6	0	0	4	12	1
両	合 計	0	82	17	3	0	42	144	16
救	出人員	0	10	4	0	0	11	25	0

# 21. 月別救助出動表

4	+44£111 <i>k</i> k					,				
争	故種別等	مان	交	水	機	自然	そ	^	高	管
		火	通	難	械	災 害 風	の	合	速	轄
		災	事	事	事	水	/ı.lə	計	道	Hi
月別	\		故	故	故	害 等	他		路	外
1	月	0	2	1	0	0	0	3	0	0
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	月	0	5	0	0	0	2	7	0	0
4	月	0	0	0	1	0	2	3	0	0
5	月	0	3	1	0	0	3	7	1	0
6	月	0	3	0	0	0	2	5	0	0
7	月	0	1	1	0	0	1	3	1	0
8	月	0	4	0	0	0	2	6	0	0
9	月	0	3	0	0	0	0	3	1	0
10	月	0	1	0	0	0	1	2	0	0
11	月	0	2	0	0	0	1	3	0	0
12	月	0	1	0	0	0	0	1	1	0
合	計	0	25	3	1	0	14	43	4	0